学生の手引

２０１９
（4月期）
保健学専攻
（博士後期課程）

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

保健学専攻（博士後期課程）

は　じ　め　に

この「学生の手引」は，学生の皆さんが保健学専攻に入学してから修了するまでの修学・学生生活上の手引きです。また「大学院便覧」にも有用な情報が掲載されていますので，修了までなくさないようにしてください。不明な点があれば問い合わせてください。
本書を大いに活用して，充実した研究活動を送ることを願っています。

保健学務係

電話（076）265-2514～２５１７
e-mail　t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp

保健学専攻学生の手引　目次

保健学専攻（博士後期課程）のＣＰ・ＤＰについて‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１

博士後期課程　授業科目一覧‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　２

２０１９年度授業時間割表‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　３

博士後期課程の研究指導等について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　５

博士後期課程の履修方法に関する細則‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　７

博士後期課程学生の学位請求に関する細則‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　９

博士後期課程学生の学位請求に関する細則の申し合わせ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１１

保健学専攻における長期履修に関する申し合わせ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１４

院生カルテ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１６

授業科目履修計画表‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１８

その他学修関係・学生生活関係について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　１９

図書室利用案内‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　２４

北陸がんプロフェッショナル養成コースについて‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　３１

宝町・鶴間キャンパスマップ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　３７

保健学専攻(博士後期課程)のカリキュラム･ポリシー，ディプロマ･ポリシーについて

大学院医薬保健学総合研究科は「医学，薬学及び保健学の教育，研究及び診療を通して，地域貢献，世界への情報発信並びに優秀な高度医療人，研究者及び専門的職業人を養成及び排出する」ことを目的としている。

本研究科には５年の博士課程として保健学専攻が設置され，前期２年の課程（博士前期課程）と後期３年の課程（博士後期課程）に区分される。保健学専攻（博士後期課程）においては，上記目標の達成のため，以下に示すとおり教育課程の編成方針を定め，それに応じた学位授与方針を定めている。

● 保健学専攻のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

・看護科学，医療科学，リハビリテーション科学における学問の体系化の構築を行い，国際的にも活躍できる教育者・研究者および指導的な高度専門職業人の育成を目標とする。
・保健学の各領域が協力し，複雑化した保健医療福祉の重要課題に柔軟かつ多面的に取り組む能力を養う。
・従来の保健学や技術分野に属さない新しい分野および境界分野の重要課題に対応でき，先端的な保健医療福祉に関する情報の発信と共有化の担い手となる人材の育成を目指す。
・保健医療福祉の高度専門化に対する社会的ニーズに対応し，課題解決能力，研究能力のある指導的職業人の育成を目指す。

上記の目標達成のために，専門分野の科目と特別研究によりカリキュラムを編成する。

● 保健学専攻のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

・保健学領域において先端的な研究開発能力と高度先端医療技術を有する医療人，研究者・教育者として認められ，生命の尊厳と保健医療に対する倫理観と責任感にあふれ，種々の医療分野の専門職と連携し，高度の医療技術を駆使したチーム医療を指導することができる。
・専門分野における知識，技能に優れ，特別研究により必要な研究指導を受けた上，新たな知見を見いだす事ができる。

以上の人材養成目標を達成し，かつ全人的医療を担える高度専門医療人および保健学分野における教育者・研究者として認められた者に博士（保健学）の学位を授与する。

医薬保健学総合研究科保健学専攻(博士後期課程) 授業科目一覧

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割コード	担当教員	単位数	時間	開講時期
大学院ＧＳ科目			研究者として自立するために	02401	少作，小林(聡)，宮地，細，本多，中谷，森下，表	1	15	１年第１Ｑ
看護科学	臨床実践看護学	慢性・創傷看護技術学	慢性・創傷看護技術学特講	02001	稲垣，中谷，須釜，大桑，藤野，多﨑，柳原	2	30	１年前期
			慢性・創傷看護技術学特講演習	02002	稲垣，中谷，須釜，大桑，藤野，多﨑，柳原	2	30	１年後期
			慢性・創傷看護技術学特別研究	02003	稲垣，中谷，須釜，大桑	6	180	１年前期～２年前期
		老年リハビリテーション・精神看護学	老年リハビリテーション・精神看護学特講	02014	加藤，谷口，河村，正源寺	2	30	１年前期
			老年リハビリテーション・精神看護学特講演習	02015	加藤，谷口，河村，正源寺	2	30	１年後期
			老年リハビリテーション・精神看護学特別研究	02016	加藤	6	180	１年前期～２年前期
	健康発達看護学	女性・小児環境発達学	女性・小児環境発達学特講	02021	田淵，毎田，津田，鏡	2	30	１年前期
			女性・小児環境発達学特講演習	02022	田淵，毎田，津田，鏡	2	30	１年後期
			女性・小児環境発達学特別研究	02023	田淵，毎田，津田	6	180	１年前期～２年前期
		公衆衛生・在宅看護学	公衆衛生・在宅看護学特講	02034	塚崎，表，岡本(理)，京田	2	30	１年前期
			公衆衛生・在宅看護学特講演習	02035	塚崎，表，岡本(理)，京田	2	30	１年後期
			公衆衛生・在宅看護学特別研究	02036	塚崎，表	6	180	１年前期～２年前期
医療科学	量子医療技術学	機能画像解析学	機能画像解析学特講	02101	川井，宮地，市川，岡本(博)，中山，田中(利)，林	2	30	１年前期
			機能画像解析学特講演習	02102	川井，宮地，市川，岡本(博)，中山，田中(利)，林	2	30	１年後期
			機能画像解析学特別研究	02103	川井，宮地，市川	6	180	１年前期～２年前期
		量子診療技術学	量子診療技術学特講	02111	小野口，川島(博)，小林(聡)，武村，松原	2	30	１年前期
			放射線治療物理臨床技術学特講	02113	武村，松原	2	30	全学年前/後期
			量子診療技術学特講演習	02112	小野口，川島(博)，小林(聡)，武村，松原	2	30	１年後期
			臨地専門マネージメント演習	02114	武村，松原	2	30	全学年前/後期
			量子診療技術学特別研究	02115	小野口，川島(博)，小林(聡)，武村，松原	6	180	１年前期～２年前期
	病態検査学	分子生物検査学	分子生物検査学特講	02121	稲津，岡本(成)，北村，関根，古荘	2	30	１年前期
			分子生物検査学特講演習	02122	稲津，岡本(成)，北村，関根，古荘	2	30	１年後期
			分子生物検査学特別研究	02123	稲津，岡本(成)，北村，関根	6	180	１年前期～２年前期
		腫瘍検査学	腫瘍検査学特講	02131	本多，櫻井，森下，笠島	2	30	１年前期
			腫瘍検査学特講演習	02132	本多，櫻井，森下，笠島	2	30	１年後期
			腫瘍検査学特別研究	02133	本多，櫻井，森下	6	180	１年前期～２年前期
リハビリテーション科学	理学療法科学	障害解析学	障害評価学特講	02201	細，山下，三秋	2	30	１年前期
			障害評価学特講演習	02202	細，山下，三秋	2	30	１年後期
			機能回復学特講	02203	淺井，山崎，横川	2	30	１年前期
			機能回復学特講演習	02204	淺井，山崎，横川	2	30	１年後期
			障害解析学特別研究	02205	細，淺井，山崎	6	180	１年前期～２年前期
	作業療法科学	機能・能力回復学	生理機能解析学特講	02211	染矢，少作，米田	2	30	１年前期
			生理機能解析学特講演習	02212	染矢，少作，米田	2	30	１年後期
			作業能力回復学特講	02213	柴田，西村，砂原	2	30	１年前期
			作業能力回復学特講演習	02214	柴田，西村，砂原	2	30	１年後期
			機能・能力回復学特別研究	02215	染矢，少作，柴田，西村	6	180	１年前期～２年前期

※この表において「前期」とは４月～９月期を，「後期」とは１０月～３月期をさします。

なお，「第１Ｑ」とは前期前半（第１クォーター），「第２Ｑ」とは前期後半（第２クォーター），「第３Ｑ」とは後期前半（第３クォーター），「第４Ｑ」とは後期後半（第４クォーター）をさします。

※詳細な開講時間帯は，授業時間割表で確認すること。

※講義内容は，金沢大学SYLLABUS（https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMair を参照すること。

2019年度/前期（第1Q・第2Q）　保健学専攻授業時間割表（博士後期課程）

曜日	領域	講座	1限 8:45 ～ 10:15 授業科目名・担当教員	2限 10:30 ～ 12:00 授業科目名・担当教員	3限 13:00 ～ 14:30 授業科目名・担当教員	4限 14:45 ～ 16:15 授業科目名・担当教員	5限 16:30 ～ 18:00 授業科目名・担当教員	6限 18:10 ～ 19:40 授業科目名・担当教員	7限 19:50 ～ 21:20 授業科目名・担当教員
月	GS						研究者として自立するために（第1Q） 少作，小林(聡)，宮地，細，本多，中谷，森下，表　1218	研究者として自立するために（第1Q） 少作，小林(聡)，宮地，細，本多，中谷，森下，表　1218	
	看護科学	臨床							
		健康							
	医療科学	量子	量子診療技術学特講 小野口，川島（博），小林（聡），武村，松原					量子診療技術学特講 小野口，川島（博），小林（聡），武村，松原	
		病態							
	リハビリテーション科学	理学							
		作業	作業能力回復学特講 柴田，西村，砂原						
火	GS								
	看護科学	臨床			慢性・創傷看護技術学特講 稲垣，中谷，須釜，大桑，柳原，藤野，多崎				
		健康							
	医療科学	量子							
		病態							
	リハビリテーション科学	理学	機能回復学特講 淺井，山崎，横川				障害評価学特講 細，山下，三秋	障害評価学特講 細，山下，三秋	機能回復学特講 淺井，山崎，横川
		作業							作業能力回復学特講 柴田，西村，砂原
							生理機能解析学特講 染矢，少作，米田		生理機能解析学特講 染矢，少作，米田
水	GS								
	看護科学	臨床		老年リハビリテーション・精神看護学特講 加藤，谷口，河村，正源寺				老年リハビリテーション・精神看護学特講 加藤，谷口，河村，正源寺	
		健康							
	医療科学	量子							
		病態					分子生物検査学特講 稲津，岡本（成），北村，関根，古荘	分子生物検査学特講 稲津，岡本（成），北村，関根，古荘	
							腫瘍検査学特講 本多，櫻井，森下，笠島	腫瘍検査学特講 本多，櫻井，森下，笠島	
	リハビリテーション科学	理学							
		作業							
木	GS								
	看護科学	臨床							慢性・創傷看護技術学特講 稲垣，中谷，須釜，大桑，柳原，藤野，多崎
		健康				女性・小児環境発達学特講 田淵，毎田，津田，鏡			女性・小児環境発達学特講 田淵，毎田，津田，鏡
	医療科学	量子							
		病態							
	リハビリテーション科学	理学							
		作業							
金	GS								
	看護科学	臨床							
		健康					公衆衛生・在宅看護学特講 塚崎，表，岡本（理），京田	公衆衛生・在宅看護学特講 塚崎，表，岡本（理），京田	
	医療科学	量子					機能画像解析学特講 川井，宮地，市川，岡本(博)，中山，田中(利)，林，小林(正)	機能画像解析学特講 川井，宮地，市川，岡本(博)，中山，田中(利)，林，小林(正)	
		病態							
	リハビリテーション科学	理学							
		作業							

【注意事項】

1）特別研究の時間割については各指導教員と相談して決めてください。

2）医療科学領域『放射線治療物理臨床技術学特講（武村）』は，E-learning形式で行います。詳細は放射　武村まで確認してください。

3）医療科学領域『臨地専門マネージメント演習（武村）』は１～３年次 に開講します。詳細は指導教員に確認してください。

4）大学院ＧＳ科目『研究者として自立するために』は，集中講義として行います。【予定】5/25（土），5/26（日）詳細は担当教員に確認してください。

2019年度/後期（第3Q・第4Q）　保健学専攻授業時間割表（博士後期課程）

曜日	領域	講座	1限 8:45 ～ 10:15 授業科目名・担当教員	2限 10:30 ～ 12:00 授業科目名・担当教員	3限 13:00 ～ 14:30 授業科目名・担当教員	4限 14:45 ～ 16:15 授業科目名・担当教員	5限 16:30 ～ 18:00 授業科目名・担当教員	6限 18:10 ～ 19:40 授業科目名・担当教員	7限 19:50 ～ 21:20 授業科目名・担当教員
月	GS								
	看護科学	臨床				慢性・創傷看護技術学 特講演習 稲垣，中谷，須釜，大桑， 栁原，藤野，多﨑			
		健康							
	医療科学	量子					量子診療技術学特講演習 小野口，川島（博）， 小林（聡），武村，松原	量子診療技術学特講演習 小野口，川島（博）， 小林（聡），武村，松原	
		病態							
	リハビリテーション科学	理学							
		作業							
火	GS								
	看護科学	臨床							慢性・創傷看護技術学 特講演習 稲垣，中谷，須釜，大桑， 栁原，藤野，多﨑
		健康							
	医療科学	量子							
		病態							
	リハビリテーション科学	理学							
		作業		作業能力回復学特講演習 柴田，西村，砂原					作業能力回復学特講演習 柴田，西村，砂原
水	GS								
	看護科学	臨床				老年リハビリテーション・ 精神看護学特講演習 加藤，谷口，河村，正源寺			老年リハビリテーション・ 精神看護学特講演習 加藤，谷口，河村，正源寺
		健康							
	医療科学	量子							
		病態					分子生物検査学特講演習 稲津，岡本（成），北村， 関根，古荘	分子生物検査学特講演習 稲津，岡本（成），北村， 関根，古荘	
							腫瘍検査学特講演習 本多，櫻井，森下，笠島	腫瘍検査学特講演習 本多，櫻井，森下，笠島	
	リハビリテーション科学	理学					機能回復学特講演習 淺井，山崎，横川		機能回復学特講演習 淺井，山崎，横川
		作業					生理機能解析学特講演習 染矢，少作，米田		生理機能解析学特講演習 染矢，少作，米田
木	GS								
	看護科学	臨床							
		健康				女性・小児環境発達学 特講演習 田淵，毎田，津田，鏡		女性・小児環境発達学 特講演習 田淵，毎田，津田，鏡	
	医療科学	量子							
		病態							
	リハビリテーション科学	理学					障害評価学特講演習 細，山下，三秋		障害評価学特講演習 細，山下，三秋
		作業							
金	GS								
	看護科学	臨床							
		健康					公衆衛生・在宅看護学特講演習 塚崎，表，岡本（理），京田	公衆衛生・在宅看護学特講演習 塚崎，表，岡本（理），京田	
	医療科学	量子					機能画像解析学特講演習 川井，宮地，市川，岡本(博)， 中山，田中(利），林	機能画像解析学特講演習 川井，宮地，市川，岡本(博)， 中山，田中(利），林	
		病態							
	リハビリテーション科学	理学							
		作業							

【注意事項】

特別研究の時間割については各指導教員と相談して決めてください。

保健学専攻博士後期課程の研究指導等について

１．研究指導体制について

研究指導の充実を図るために複数教員による研究指導を行います。

１）研究指導グループ

① 研究指導グループは，主任指導教員（教授）１名，副指導教員１名以上および研究連携協力教員１名の合計３名以上で構成されます。
② 研究指導グループの編成は，教務委員会が調整し，博士課程委員会で決定します。
③ 指導教員が転出等で不在となったときにも，学生の研究計画遂行に支障を及ぼさないように速やかに後任者を定めて補充するように配慮されます。

２）主任指導教員

① 主任指導教員（教授）は，履修計画の作成，研究計画の立案，研究の遂行，研究中間報告の作成，学位論文の作成，学位請求などの指導を行います。
② 倫理審査が必要な研究内容の場合は，指導教員と相談の上，倫理審査委員会に審査を申請してください。
③ 主任指導教員が指導する学生数については，実質的かつ十分な研究指導が可能であることを考慮します。

３）副指導教員

① 副指導教員は，研究計画，研究進捗状況，学位論文についての助言などの指導を主任指導教員と協力して行います。
② 学生は主任指導教員と相談の上，副指導教員を選んでください。主任指導教員は，学生が研究計画を遂行する上で適切な副指導教員を選ぶように指導します。

４）研究連携協力教員

① 研究連携協力教員は，他の指導教員や学生に対し，研究指導環境全体に関する相談，助言を行います。
② 学生は主任指導教員と相談の上，研究連携協力教員を選んでください。主任指導教員は，適切な研究連携協力教員を選ぶように指導します。

２．研究指導および学位請求手続き

所定の年限（標準修業年限３年）で修了するための研究指導及び学位請求のスケジュールは以下の通りです。

① 主任指導予定教員に対し副指導教員および研究連携協力教員の推薦を依頼し，その結果を院生カルテの副指導教員欄および研究連携協力教員欄に記入し，副指導教員および研究連携協力教員の承認印を受けた後，指定された期日までに教務委員会へ提出してください。
② 指導教員の指導のもとに授業科目履修計画を作成し，指定された期日までに教務委員会へ提出してください。
③ 指導教員の助言を受け研究計画を立案してください。研究課題を院生カルテに記入し，指定された期日までに教務委員会へ提出してください。
④ 研究計画に従って研究を遂行してください。研究計画に大きな変更があった場合には，指導教員に報告してください。
⑤ 倫理審査が必要な研究内容の場合は，指導教員と相談の上，倫理審査委員会に審査を申請してください。
⑥ ２年次後期に指導教員に研究成果の中間報告を行ない，研究の進捗状況について助言を受けてください。
⑦ 第２年次終了までに所定の授業単位を取得してください。
⑧ 研究成果を指導教員の指導のもとに学位論文としてまとめてください。作成した学位論文は指導教員で査読および修正等の予備審査を受けてください
⑨ 学位論文の投稿先は「博士後期課程学生の学位請求に関する細則」および「同細則の申し合せ」に従ってください。
⑩ 学位請求手続きは，博士後期課程の学位請求に関する細則（後述）に従って，期日までに行ってください。学位請求の手続きには，学位論文の別刷または掲載証明を提出します。共著論文の場合，論文提出者が筆頭者であることが必要です。また他の共著者の同意書が必要となります。
⑪ 学位論文の審査および口述による最終試験を行います。

⑫ 単位修得状況及び最終試験の結果に基づき博士課程委員会で最終審査が行われます。合格した場合は，博士後期課程を修了するとともに，博士（保健学）の学位が授与されます。

３.早期修了

博士課程委員会が特に優れた業績を上げたと認めるものについては１年以上在学すれば修了することができます。

博士課程委員会承認
（平成 31 年 2 月 28 日開催）

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程の履修方法に関する細則

（趣旨）

第 1 条　医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程の履修方法に関しては，金沢大学大学院学則，金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程（以下「研究科規程」という。）に定めるもののほか，この細則の定めるところによるものとする。

（教育方法）

第 2 条 研究科規程第 20 条 7 項に定める 11 単位は次の区分（別表）により，履修しなければならない。

必修科目

(1) 大学院ＧＳ科目「研究者として自立するために」1 単位を修得する。

(2) 所属する大講座が開設する特講，特講演習科目から 2 科目 4 単位を選択修得する。

(3) 所属する大講座が開設する特別研究から 1 科目 6 単位を修得する。

ただし，ロシア・東アジア地域をつなぐ先制医療リーダー育成プログラム学生は，上記 (2) に替えて，「環境・遺伝要因と健康総論」　(2 単位) と「メディカルサイエンスセミナー」(2 単位) を修得する。

（教育課程に関する審議）

第 3 条　学位授与に関する審議は，保健学専攻博士課程委員会で行う。

（研究指導・学位請求手続き）

第 4 条　研究指導，学位請求手続き等に関する事項は，別途定めるものとする。

（補則）

第 5 条　この細則の改正には，保健学専攻博士課程委員会委員の 2 分の 1 以上の同意を要する。

附 則

1　この細則は，平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

2　平成 17 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

1　この細則は，平成 26 年 10 月 1 日から施行する。

2　平成 26 年 9 月 30 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

1　この細則は，平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

2　平成 29 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

1　この細則は，平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

2　平成 31 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

別表

博士後期課程

区　　分	履　　修　　科　　目		単　位　数
必　　修	大学院ＧＳ科目 研究者として自立するために	1 科目	1 単位
	所属する大講座が開設する特講，特講演習 ただし，ロシア・東アジア地域をつなぐ先制医療リーダー育成プログラム学生は以下の科目 環境・遺伝要因と健康総論，メディカルサイエンスセミナー	2 科目	4 単位
	所属する大講座が開設する特別研究	1 科目	6 単位
合　　計		4 科目	11 単位

博士課程委員会承認
（平成 31 年 2 月 28 日開催）

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程学生の学位請求に関する細則

（趣旨）

第 1 条　医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程（以下「後期課程」という。）の学位授与に関しては，金沢大学大学院学則，金沢大学学位規程，金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程によるもののほか，この細則による。

（学位論文の提出資格）

第 2 条　後期課程に 3 年以上在学し，研究科規程に定める 11 単位以上を修得した者は学位論文を提出することができる。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績をあげ，博士課程委員会の審査に合格した者は，1 年以上在学すれば学位論文を提出することができる。

（学位論文提出者の提出資格認定）

第 3 条　学位論文提出者の資格は，主任指導教員の確認により博士課程委員会委員長が認定する。前条に定めた学位論文提出資格者は，次に定められた参考論文（1 編）を基に新たに作成された論文を提出し，博士課程委員会に諮り認定する。

(1) 提出できる学位論文の基礎となる参考論文は，博士課程委員会が指定する雑誌に，筆頭著者として記載されたものとする。更に，筆頭著者又は共著者として掲載された副論文 1 編以上を添付しなければならない。

(2) 参考論文は，研究成果に関する公開発表を経たものでなければならない。ただし，看護科学領域において，別に定める予備審査に合格したときは，参考論文は，研究成果に関する公開発表を経る必要がないこととする。なお，未発表の場合は，掲載証明（掲載雑誌名，巻，号，発刊年月の明記のあるもの）の提出をもって公開発表を経たものとする。

（学位論文の提出）

第 4 条　学位論文の審査を願い出る者は，下記の書類を添えて保健学務係へ提出する。

(1)　・学位論文，参考論文及び副論文（各 3 部）
　　・論文審査願（指定様式）
　　・論文目録（指定様式）
　　・履歴書（指定様式）
　　・論文要旨（A4 用紙で和文にて 2,000 字以内）
　　・予備審査合格証明書（看護科学領域のみ）

(2) 提出期限は 1 月第 3 週金曜日（当日が祝祭日の場合は前日）とする。ただし，秋季終了者については，7 月第 4 週金曜日（当日が祝祭日の場合は前日）とする。

（論文の審査）

第 5 条　受理した学位論文は，博士課程委員会委員あてに配布し，更に別に定める方法により公開する。

(1) 学位論文の審査および最終試験は，2 月末日までに終了するものとする。秋季修了者については，8 月末日までに終了するものとする。
(2) 学位論文の審査員は，博士課程委員会で承認された主査と副査 2 名以上とする。
(3) 学位論文の共著者および学位請求者の親族は，当該学位審査の主査になれない。
(4) 学位論文審査員および最終試験日程は公示する。
(5) 主査は，1,000 字以内の論文内容の要旨および審査結果の要旨を作成し，博士課程委員会にて報告する。
(6) 最終試験の方法は，審査員全員が合同し，口頭試問により行う。なお，最終試験は公開とし，審査員以外の医薬保健学総合研究科教員，大学院生並びに医学研究に携わる関係者が出席して発言することができる。
(7) 判定は，審査員全員が適格と認めたものを合格とし，一致をみなかったものを不合格とする。

（学位授与に関する審議）
第 6 条　学位授与に関する審議は，本学学位規程第 12 条により博士課程委員会にて行う。審議には，博士課程委員会構成員の 3 分の 2 以上の出席を必要とし，出席した構成員の 3 分の 2 以上の多数をもって決するものとする。なお，学位授与の可否の決定は無記名投票による。
最終試験において不合格とされたものは審議に付さない。

（補足）
第 7 条　本細則の改正には，博士課程委員会の 3 分の 2 以上の同意を要する。

附則
1　この細則は，平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
2　この細則は，平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
3　この細則は，平成 20 年 10 月 1 日から施行する。
ただし第 5 条第 3 項について，平成 20 年 10 月 1 日現在で学位論文を所定の学会誌等に投稿済みの場合は，この限りではない。
4　この細則は，平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
5　この規程は，平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし，平成 31 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

博士課程委員会承認

（平成31年2月28日開催）

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程学生の学位請求に関する細則の申合せ

（早期修了の要件）

1. 細則第2条に規定する優れた研究業績とは，次のいずれかに該当する場合をいう。ただし，研究業績の一部は大学院在学期間中に行われたものでなければならない。

ア．投稿時に3.0以上のimpact factor（注1）を有する学術誌に掲載された参考論文（筆頭著者）を有する。

イ．参考論文を含む複数の論文（筆頭著者）の投稿時のimpact factorの合計が3.0以上である。

ウ．優れた研究業績の認定のために各領域が予め指定し，課程委員会の承認を得ている学術誌に掲載された論文を参考論文として提出する場合。

（学位論文）

2. 細則第3条に規定する学位論文は，次のとおりとする。

(1) 学位論文は，1編とし，単著又は共著の筆頭論文の参考論文（1編）を基に新たに作成されたものでなければならない。ただし，筆頭著者を含む複数の著者の貢献度が同じであると明記されている参考論文の扱いについては別に定めるものとする。

(2) 参考論文は，次のいずれかに該当する査読のある学術誌に，博士後期課程在学中に掲載（Webによる公開も含まれる。）されたものでなければならない。ただし，未掲載のものについては，掲載証明（掲載雑誌名，巻，号，発行年月の明記のあるもの），または掲載受理された旨が記載されている書類（E-mail等）及び主任指導教員による証明書の提出をもって公開発表を経たものとする。

なお，掲載証明は，学位請求論文提出締切日までに提出されなければならない。

ア．impact factorが公表されている学術誌。

イ．Pub Med又はCINAHLに掲載されている（注2）学術誌。

ウ．参考論文掲載誌として各領域が予め指定し，課程委員会の承認を得ている学術誌。

(3) 副論文は，単著又は共著とし，査読のある学術誌に，原則として博士課程在学中に掲載されたものでなければならない。ただし，未掲載のものについては，掲載証明（掲載雑誌名，巻，号，発行年月の明記のあるもの），または掲載受理された旨が記載されている書類（E-mail等）及び指導教員による証明書の提出をもって公開発表を経たものとする。なお，掲載証明は，学位請求論文提出締切日までに提出されなければならない。

(4) 学位論文には，原則として申請者の所属が本学と明記されていなければならない。

（論文の審査）

3. 細則第5条に規定された最終試験の審査員は，次のとおりとする。

(1) 審査員は，博士課程委員会で承認された主査（原則として課程委員会構成員である保健学専攻の専任教授）と主任指導教員の推薦により課程委員会にて承認された副査（2名以上）とする。

(2) 審査員は原則として医薬保健学総合研究科保健学専攻の教員とし，課程委員会が必要と認めたときは他の専攻あるいは他の研究科担当の教員又は他大学の大学院若しくは他の研究所等の教員等を審査員に指名することができる。

(3) 審査員に不測の事態が生じ，審査が不可能となった場合，保健学専攻長が代りの審査員を指名する。

4. 最終試験について，次のとおりとする。

(1) 審査会は，最終試験の成績に難点があるときは，6ヶ月に限りその判定を保留することができる。受験者は審査会の許可を得て，この期間中に再度の受験を申請することができる。

(2) 審査会による試験の結果不合格と判定されたものおよび課程委員会において不適格と決定されたものは，半年以上を経過すれば，改訂された論文又は新たな論文を提出して，学位申請することができる。

(学位論文の公開)

5. 最終試験に合格した学位論文は，以下の方法にて公開する。ただしイについては，学位取得者から公開の拒否又は留保する申し出があった場合は，この限りではない。

ア. 国立国会図書館及び医学系分館保健学類図書室

イ. 金沢大学学術情報リポジトリ (KURA)

(注) 1. impact factor は，クラリベイト・アナリティクス社の JCR (Journal Citation Reports) で公開されている数値をさす。Journal Impact Factor の値とし，5 Year Impact Factor の値は採用しない。

2. PubMed 掲載誌の確認については，PubMed のウェブサイトの NLM Catalog を選択後，雑誌名を入力し確認する。

附則

1. この申合せは平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 20 年 3 月 31 日に在学する者についてはなお従前の例による。

附則

1. この申合せは平成 20 年 10 月 1 日から施行する。
2. 平成 20 年 9 月 30 日に在学する者についてはなお従前の例による。

ただし，3 は平成 20 年度在学生から適用する。

附則

この申合せは平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし，2 (4) について，平成 22 年 3 月 31 日現在で学位論文を所定の学会誌等に投稿済みの場合は，この限りではない。

附則

この申合せは平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この申合せは平成 24 年 8 月 1 日から施行する。

附則

この申合せは平成 26 年 8 月 6 日から施行する。

附則

この申合せは平成 27 年 2 月 4 日から施行する。

附則

この申合せは平成 29 年 4 月 5 日から施行する。

附則

1. この規程は，平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 31 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻における長期履修に関する申合せ
（平成２８年３月２日医薬保健学総合研究科保健学博士課程委員会承認）

１．趣旨

この申し合せは，金沢大学学則第５８条及び金沢大学大学院学則第２７条の規定に基づく，金沢大学長期履修の取扱いに関する規程に定めるもののほか，金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期・後期課程）における長期履修に関し，必要な事項を定める。

２．対象となる学生

次の各号の一に該当する者で，金沢大学大学院学則第６条に規定する標準修業年限内での修学が困難な事情にある者とする。ただし，在学者にあっては，修了予定年次の者を除く。

（１）入学時及び在学時において社会人有職者で，職務上の事情により，著しく学修時間の制約を受ける者

（２）育児，介護等に従事している者で，その事情により著しく学修時間の制約を受ける者

３．長期履修の申請

長期履修を希望する者は，指導（予定）教員の承認を得て研究科長に提出するものとする。

４．長期履修の許可期間

博士前期課程及び博士後期課程においては，在学年限の範囲内で年又は学期単位で認める期間とする。

５．申請期間

（１）社会人選抜での入学予定者は，入学手続き期間内に長期履修申請書を提出するものとする。

（２）在学生で対象となる者は，２月末日又は８月末日までに長期履修申請書を提出するものとする。

６．証明書類

（１）有職者

所属長が発行する承諾書

ただし，以前に提出済の者は，不要

（２）育児，介護等に従事している者

上記に従事していることの証明書等又は申立書

７．長期履修の短縮手続き

長期履修を許可された者が，在学期間を短縮しようとするときは，指導教員の承認を得て長期履修短縮申請書を研究科長に提出するものとする。

８．長期履修の短縮の申請期間

９月修了希望の場合は前年度の２月末日，３月修了希望の場合は８月末日とする。

９．長期履修の開始日及び短縮の開始日

各学期の始めとする。

10. 長期履修に関することで，上記以外に関わる事項については，教務委員会で審議の上，医薬保健学総合研究科保健学博士課程委員会の議を経て決定するものとする。

附　則

この申し合せは，平成１６年４月１日から施行する。

附　則

この申し合せは，平成２６年８月６日から施行し，平成２６年４月１日から適用する。

附　則

この申し合せは，平成２８年３月２日から施行し，平成２８年４月１日から適用する。

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻

院生カルテ(教育・研究指導確認簿): 博士後期課程

半期毎に（各学期末までに）主任指導教員が学務に提出する。

1. 入学時記入欄（注 1）

領域名		入学年月		2019 年 4 月
教育研究分野		指導教員	主任指導教員	印
学籍番号			副指導教員	印
学生氏名			副指導教員	印
			研究連携協力教員	印
研究題目				

（注 1）指導教員の確認を得た上で学生が記入する。

副指導教員は 1 名ないし 2 名。

2. 履修状況など（注 2）

確認項目		○記入欄	日付	印（ｻｲﾝ）
授業科目履修計画表を提出しましたか。				
履修登録	大学院 GS 科目「研究者として自立するために」1 単位			
	所属分野の特講、特講演習から 2 科目 4 単位			
	所属分野の特別研究 1 科目 6 単位			
規定に定める 11 単位以上を修得しましたか。				
長期履修申請者	長期履修期間　（　　年　　か月） 年　月　～　　年　月			
14 条特例申請者	年　月から適用			
倫理審査が必要な研究の場合	倫理審査申請を提出しましたか。			
	承認されましたか。			

（注 2）学生（または主任指導教員）が記入する。

該当する項目に○を付け、○を付けた日付を記入し、記入者の印を押す（サインも可）。

3. 備考

4. 研究指導など（注 3）

年 (西暦)	学期 (注 4)	在学状況 （注 5）	コメント等 （研究や論文作成の進行状況など）	確認欄		
				学生	教員	領域長
2019	前期					
	後期					
2020	前期					
	後期					
2021	前期					
	後期					
2022	前期					
	後期					
2023	前期					
	後期					
2024	前期					
	後期					
2025	前期					
	後期					
2026	前期					
	後期					
2027	前期					
	後期					

（注 3）学生または主任指導教員が記入し、学生と主任指導教員の両方が押印する（サインも可）。

（注 4）前期は 4 月～9 月、後期は 10 月～3 月。

（注 5）在学の場合は空欄。休学の場合は「休学」と記載。休学の場合は学生の確認印は不要。

主任指導教員印

授業科目履修計画表

入学年度	2019　年度
医薬保健学総合研究科保健学専攻	博士後期課程
領域名	領域
教育研究分野	分野
学籍番号	
氏名	（一般・１４条適用）

受講時期		時間割番号	授業科目	単位数	担当教員名	備考
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・第2Q・第3Q・第4Q					

※修了するまでに受講を希望する科目をすべて記載すること

※この計画表は指導教員と修了までの履修計画を確認するためのものです。別途アカンサスポータルで必ず履修登録をしてください。

学 修 関 係 に つ い て

① 【重要】保健学務係からの連絡事項について（掲示板）

保健学務係からの連絡事項は基本的に掲示板を通じて行います。
保健学専攻ではアカンサスポータル（後述）の「お知らせ」に連絡事項を掲示しています。アカンサスポータルは，研究室はもちろん職場・自宅のパソコン，スマートフォンでも確認することができますので，**見落としの無いようにこまめに確認してください。**

保健学類1号館2階の掲示板にも同様のお知らせを掲示しています。
（奨学金等は掲示板に掲示してあります。）

② 【重要】履修登録について

大学院博士後期課程を修了するには，学位論文を執筆することはもちろん，所定の単位を修得しなくてはなりません。そのためには毎学期，指定する期間内にインターネット（アカンサスポータル）を利用して**履修する科目の登録が必要です。** 登録可能期間については別途掲示を必ず確認してください。
登録方法については，**「大学院便覧116頁」**を参照してください。

※ 後期（10月～）（第3クォーター，第4クォーター含む）に開講される科目を前期（4月～）に登録することは出来ますが，その逆は出来ません。登録漏れのないよう注意してください。
※ **各分野の開講する＜特別研究＞も含め**開講される科目についてはすべて履修登録が必要です。

【重要】履修科目の登録後，単位認定を希望するすべての科目が登録されているか，履修登録状況を確認してください。訂正がある場合は，登録時と同様に期間内にアカンサスポータルから訂正してください。

（参考）2019年度の履修手続きについて

（申請期間は年度により異なります。必ず毎学期，掲示にて確認してください）

【前 期】（第1クォーター，第2クォーター含む）

- 4 月 8 日（月）7 時～4 月 24 日（水）18 時　授業科目の履修登録期間
- 4 月 26 日（金）～　確定した履修登録状況を確認及び印刷することが出来る期間

【後 期】（第3クォーター，第4クォーター含む）

- 10 月 1 日（月）7 時～10 月 17 日（木）18 時　授業科目の履修登録期間
- 10 月 18 日（金）～　確定した履修登録状況を確認及び印刷することが出来る期間

③ アカンサスポータルについて（重要）

本学ではＩＣＴ教育の効果的な実践・活用をはかるため，ポータルサイト「アカンサスポータル（https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/）」を運用しています。

ポータルサイトには掲示板機能（お知らせ），LMS（学習管理システム），よく使用するサイトのリンク等多彩な機能を有しています。特に掲示板機能の「お知らせ」には**履修や成績に関する事務連絡，修了や学位論文，奨学金，授業料免除申請等に関することなど重要な情報を掲示しますので，こまめに確認するようにしてください**（掲示見落としによる不利益は救済されません）**。**

同サイトへアクセスするためのID（金沢大学 ID）・パスワードはオリエンテーション時に配布します。アカンサスポータルサイトの機能，使用方法等については，**「大学院便覧129頁」**を参照してください。

マニュアルはログイン後に閲覧できます。（ログイン→「ヘルプ」から参照してください。）

④ 学修案内

（1）学年・学期

保健学専攻の1年は4月1日に始まり，翌年の3月31日に終わります。
この期間を2学期に分け前期（4月1日～9月30日），後期（10月1日～3月31日）としています。
（さらに，前期前半を第1クォーター，前期後半を第2クォーター，後期前半を第3クォーター，後期後半を第4クォーターとしています。）
当該学期の講義開始日・行事日程等については年度初めに学年暦を掲示しますので，そちらで確認してください。実際の曜日とは異なる曜日の講義を開講する場合（曜日振替日）がありますので学年暦を参照してください。

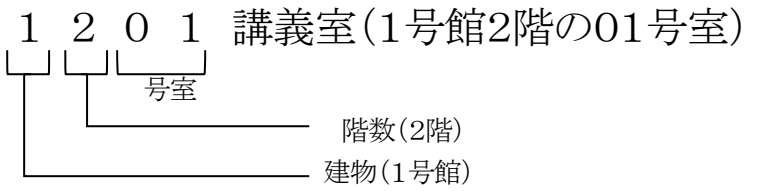
（2）授業時限

1時限	8:45～10:15	6時限	18:10～19:40 （14 条特例適用者対象）
2時限	10:30～12:00	7時限	19:50～21:20（14 条特例適用者対象）
3時限	13:00～14:30		
4時限	14:45～16:15	※6・7限の講義を受講する場合は，「14条特例適用」の申請が必要です。詳細は保健学務係まで	
5時限	16:30～18:00		

（3）保健学専攻校舎について

保健学専攻の校舎は平日の20時～翌朝7時までの間，及び土日・祝日は玄関をロックして部外者の入館を制限しています。
時間外に校舎に入講する場合は，学生証が入館カードキーとなりますので，読み取り機にかざして入構してください。

保健学専攻校舎は1号館～5号館，体育館，福利施設（厚生会館・食堂）からなります。
（巻末のキャンパスマップを参照してください。）
また各講義室・研究室はそれぞれ4ケタの室番号がふられています。



⑤ 休学・退学について

休学（1か月以上の修学中止）または退学を希望する学生は，必ず主任指導教員に十分相談の上，所定の期日までに所定の用紙（保健学務係に備え付け）により願い出てください（病気の事由による場合は医師の診断書を添付してください）。提出期限については別途掲示によりお知らせします。

⑥ 経済支援について

本学の経済支援制度については以下のサイトを参照してください。・
https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic
『金沢大学 Web サイト』→『学生生活』→『経済支援』

（1）授業料免除について

経済的な理由によって授業料の納入が困難な学生で，かつ学業成績優秀と認められる学生には選考のうえ，授業料の全額又は一部を免除する制度があります。

授業料免除に関する事項はすべて掲示（掲示板，アカンサスポータル「お知らせ」）でお知らせします。申請期間を過ぎたものは受付できませんので，掲示等見落としの無いように注意してください。説明会，申請期間等スケジュールについても上記サイトで確認できます。

（2）奨学金について

日本学生支援機構，都道府県・市町村，民間の育英団体のものなどがあります。

新たに日本学生支援機構奨学金を希望する学生は，毎年 4 月（詳細な日程は掲示でお知らせします）に実施する説明会に出席してください。

（3）金沢大学学生特別支援制度

金沢大学独自の給付型奨学金制度です。

学生生活関係について

① 住所等の変更について

本人や父母等の住所・電話番号に変更があった場合は，すみやかにアカンサスポータルで変更手続きを行ってください。
また姓名に変更があった場合は，所定の手続きが必要になりますので保健学務係まで申し出てください。
有職者で「大学院設置基準第14条に基づく特例」の適用を受けている学生で，勤務先に変更があった際は保健学務係まで申し出てください。

② 学内における駐車について

本キャンパスは駐車スペースが狭いため，自動車での通学は原則禁止されています。ただし，やむを得ない理由により自動車通学を希望する場合は所定の手続き（Webによる申請の後，**必要書類の持参が必要です**）により駐車許可を申請してください。
申請期間等詳細については4月上旬に掲示します。
駐車許可なく駐車した場合は厳重に処罰されます。

③ 学生生活に関する相談について

（1）保健学専攻の学生相談室

保健学専攻では，1号館1階にある「なんでも相談室－いいまっし」で学生生活一般に関する相談を受け付けています。相談員は，保健管理センターのカウンセラー及び保健学専攻の教員が交代で担当します。　（以下，スケジュールは予定です。変更があれば掲示でお知らせします。）

相談日時　　水曜日　11時～15時（保健管理センター　カウンセラー）
予約電話番号：(076)264-5255
E-mail ： hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

なお，保健学専攻の教員に相談することを希望する場合は，直接教員に連絡してください。教員の連絡先等詳細は，『金沢大学（医薬保健学域保健学類）Web サイト』→『在校生の皆さんへ』→『各種資料・手続き（共通）』→『いいまっし（保健学類・なんでも相談室）』で確認してください。

（2）ハラスメントについて

保健学専攻では，複数のハラスメント相談員がいます。被害にあった場合は，保健学務係の窓口を通じて相談するか，または直接相談員に相談してください。

その他，保健管理センターにも学生相談室があります。詳しくは　『金沢大学 Web サイト』→『在学生』→『学生相談窓口』→『きいつけまっし』→『心と身体の健康管理・悩み事』→『ハラスメント相談窓口』で確認してください。

※『きいつけまっし』の冊子版は入学時にも皆さんに配布しております。

（3）保健管理センター宝町分室及び保健室について

①保健管理センター宝町分室について

宝町・鶴間キャンパスの学生のために，医学類F棟1階（パソコン実習室向い。後掲キャンパスマップ参照）に保健管理センター宝町分室があります。疾病の応急処置や健康相談にも対応します。
（医師は不在の場合もありますので，相談する際は事前に連絡してください。）
なお,学業,人間関係など一人で行き詰ったら，カウンセリングの予約もできますので，気軽に利用してください。

【開室時間】13時～17時　看護師が常駐しています。
【医師の診察・健康相談受付時間】14時～16時30分（火・水・金）
＊ただし，変更になる場合があります。
【場所】医薬保健学域医学類F棟１階（℡076-265-2133）

②保健室について

保健学類１号館１階に保健室があります。簡単な応急処置ができるようになっているので，保健学務係に連絡の上利用してください。

④ 学生証について

学生証は本学大学院の学生であることを証明する『身分証明書』ですので，大事に取り扱ってください。

また，図書を借りるとき，証明書自動発行機 * を利用する際にも必要ですので常に携帯し，紛失しないでください。紛失・盗難にあった場合は，直ちに保健学務係まで申し出てください。再発行の場合は手数料2,100円が必要です。

その他，学生証には金沢大学生協で利用できる電子マネー機能，夜間・休日に建物に入棟するための入館キーの機能が備え付けられています。

※証明書自動発行機は保健学類１号館正面玄関に設置されています。学生証を使用して，JR 学割証，在学証明書等各種証明書を発行することができます。

ネットワーク関係について

① インターネット，電子メールの利用

各自でユーザーID（ネットワーク ID）の登録が必要です。**「ネットワーク ID」**を取得することで，金沢大学の全てのネットワーク関連サービスが受けられます。 例えば，金沢大学キャンパス内でインターネット，無線 LAN を利用する際はネットワーク ID による認証が必要です。またネットワーク ID を取得することによりメールアドレス（XX@stu.kanazawa-u.ac.jp）も付与されます。

ネットワーク ID の登録はアカンサスポータルの「各種設定」内にある「統合アカウント管理システム」から登録してください（アカンサスポータルのログインに金沢大学 ID が必要です）。

詳細は，**「大学院便覧130頁」**又は http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/networkid/ を見てください。

② VPN の設定

総合メディア基盤センターの提供する VPN サービスを利用することにより，学外からでも学内と同じ環境 で金沢大学のネットワークが利用できます（前述のネットワーク ID が必要です。）。

VPN サービスを利用することにより，学内限定で公開されているホームページや，**附属図書館の提供する電子ジャーナル，論文検索データベース（一部不可の物もあり）の利用が学外からでも可能になります。**

詳しくは， http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/vpn/ を見てください。電子ジャーナル等利用方法については後述の「図書室利用案内」も参照してください。

③ マイクロソフト包括ライセンスについて

本学はマイクロソフト社と包括ライセンス契約を締結しています。これにより本学に在籍するすべての学生はマイクロソフト社の Windows と Office のライセンス料が無料（メディア代は別途要）となります。

制度の詳細や利用方法については http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/Mslicense/ を参照してください。

【保健学類図書室(保健学類3号館1階) 利用案内】

（１） 基本的な開室時間

曜　日	講義期間中	休業期間中
月～金	8：45 ～ 22：00	＊8：45 ～ 17：00
土	※10：00 ～ 17：00	―

※制限付き開室。**（要学生証）**

（２） 主な休室日

① 日曜日，国民の祝日（休業期間中は土曜日も休室）
② 12月28日～翌年1月3日
③ 夏季一斉休業日

詳細な開室日は図書館 Web サイト（http://library.kanazawa-u.ac.jp/mhslib/）の開館カレンダーをご覧ください。
臨時休室日は，その都度ご案内します。

（３） 図書室利用心得

① 室内では静粛にし，私語は慎んで下さい。
② 図書室内ではフタの閉まる容器に入った飲み物を除いて，飲食を禁止しています。
③ 図書・雑誌等の図書資料は自由に閲覧できる開架方式です。閲覧後の資料は必ず元の位置に戻して下さい。

（４） 蔵書冊数および雑誌種類数

（平成30年3月末現在）

区　　分	図　　書	雑　　誌
和	35,507冊	706種
洋	8,998冊	254種
計	44,505冊	960種

＊消耗品図書は上記表に含まれていません。

（５） 貸出と返却

① 学生証が「図書館利用券」となりますので，必ず持参して下さい。
② 図書，製本雑誌（バーコード貼付）の貸出は，学生証を使って自動貸出返却機で手続きして下さい。返却もできます。(返却には，学生証はいりません。)
③ 未製本雑誌，バーコードのない図書，付録付き資料，視聴覚資料の貸出は，係員がいたします。貸出には学生証の提示が必要ですが，返却はカウンターに図書等をご持参ください。
④ 更新（貸出期間の延長）は，図書についてのみできます。自動貸出返却機で更新できない場合は係員がいたします。
⑤ 返却期限を過ぎても図書を返却されない場合，遅れた日数分（最長１ヶ月）貸出停止期間となります。
⑥ 閉室時の返却は，ブックポストをご利用ください。
⑦ 借用資料（図書・未製本雑誌・製本雑誌等）の破損・汚損・紛失は，弁償の対象になりますので丁寧にご利用ください。
⑧ 視聴覚資料については，室内でも視聴することができます。係員に尋ねてください。

（６）　貸出冊数と貸出期間

区　　分	一般図書	製本雑誌	参考図書	未製本雑誌	視聴覚資料
冊　　数	６　冊	３　冊	―	３　冊	３　点
期　　間	14　日※	７　日	室内のみ	翌日返却	７　日

※更新（延長）は１回まで

（７）　図書室内での複写機の利用について

図書・雑誌の記事については，著作権の遵守が求められていますので，「文献複写申込書」に複写される図書の書名及び雑誌名等を記入してから複写して下さい。複写機の利用には，生協販売のコピーカードが必要です。

（８）　他大学の図書館利用について

紹介状や事前の照会が必要な場合があります。カウンターまでお問い合わせ下さい。

（９）　ＡＶコーナーについて

図書室備付の視聴覚資料を AV コーナーで視聴することができます。利用する際はカウンターで手続きをして下さい。

（１０）グループ学習室について

図書室資料を使った小グループの研究・学習のための部屋です。利用する際はカウンターで予約手続きをして下さい。

（１１）Web サイト

Web サイトから，学習・研究に必要な電子ジャーナルやデータベースを利用できます。
http://library.kanazawa-u.ac.jp/mhslib/

① OPAC plus 検索（金沢大学の蔵書，電子ジャーナル，電子ブックを検索）

タイトル，ISBN 等から金沢大学で所蔵している図書，雑誌，視聴覚資料等を検索できます。
検索結果画面で，所在および請求記号を確認してください。図書室資料の場合，所在表示は「保健図書室」または「保健図雑誌」となっています。保健看護，保健放射などは研究室を表します。
検索の結果，図書室の図書が貸出中のときは，返却後に優先的に借用できるように，予約することができます。
電子ジャーナル，電子ブックは検索結果からサイトへリンクされます。

② 電子ジャーナルリスト検索

金沢大学では，多くの電子ジャーナルを契約しており，学内ネットワークに接続された PC から利用できます。検索結果から電子ジャーナルのサイトへリンクされますので，巻号等で目的の論文を絞り込んでください。

③ データベース検索（学術雑誌に掲載された論文の検索）

学内ネットワークに接続された PC から，文献検索データベース「医中誌 Web」「PubMed」「CINAHL」「SCOPUS」等を使って，学術論文を検索できます。

④ オンラインサービス（学外からも利用できます）

図書館 Web サイトの「オンラインサービス」からログインすると，以下のサービスが利用できます。（金沢大学ＩＤ（アカンサスポータルのＩＤ）が必要です）

1)**「ＩＬＬ文献複写・図書貸借申込」**

学外(他大学など)および角間地区にある雑誌等の複写物の取寄せや，図書の現物借用の申込ができます。

複写取寄せでは，複写料（学内の場合20円/枚（モノクロ），学外の場合およそ35～50円/枚（モノクロ））と送料を負担いただきます。

図書の現物借用は，学内の場合は無料ですが，学外の場合は往復の送料を負担いただきます。

2)**「貸出予約状況確認」**

借りている資料の返却期限日を確認できます。図書の貸出更新（延長）手続もここからできます。

3)**「図書リクエスト」**

図書室に置いてほしい本のリクエストができます。学習・研究支援のために購入しますが，既に学内の図書室以外の場所にある場合は，1)の**「ＩＬＬ文献複写・図書貸借申込」から**借用申込をしてください。

（１２）その他

① 学術論文の入手まで

論文の収録誌が不明な場合は，データベースを使って，収録雑誌名，巻号(Vol. No.)，ページを調べます。保健学分野では，国内雑誌の論文なら医中誌 Web や CiNii，海外雑誌の論文なら PubMed や CINAHL（看護学分野）がよく使われます。

収録誌が分かったら OPAC plus 検索で電子ジャーナルか，雑誌の所蔵を探します。雑誌(冊子)の場合は目的の巻号の有無と所在場所を確認してください。

目的の雑誌が角間地区などの直接利用できない場所にあったり，金沢大学に所蔵されていない場合は，文献複写申込をして論文のコピーを取寄せることができます。（１１）④のオンラインサービスを参照ください。

② 電子ジャーナル，データベースの学外（自宅など）からの利用について

金沢大学が契約している電子ジャーナル，データベースは，通常，学内のネットワークに接続された PC からのみ利用できるようになっています。社会人院生の方など，学外からの利用を希望される場合は，以下のサイトで紹介している方法をお試しください。

https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=18287#out_campus

③ 無償公開されてる論文について

近年，インターネット上に無償で公開される論文が多くなってきています。国内の場合，多くは大学の発行する紀要（誌名に大学名を含むことが多いです）とよばれる雑誌の論文です。

以下のサイトではそれらの中から論文をまとめて検索することができます。本学の電子ジャーナルリストに含まれていない雑誌の論文が入手できることがあります。

学術機関リポジトリポータル JAIRO　http://ju.nii.ac.jp/

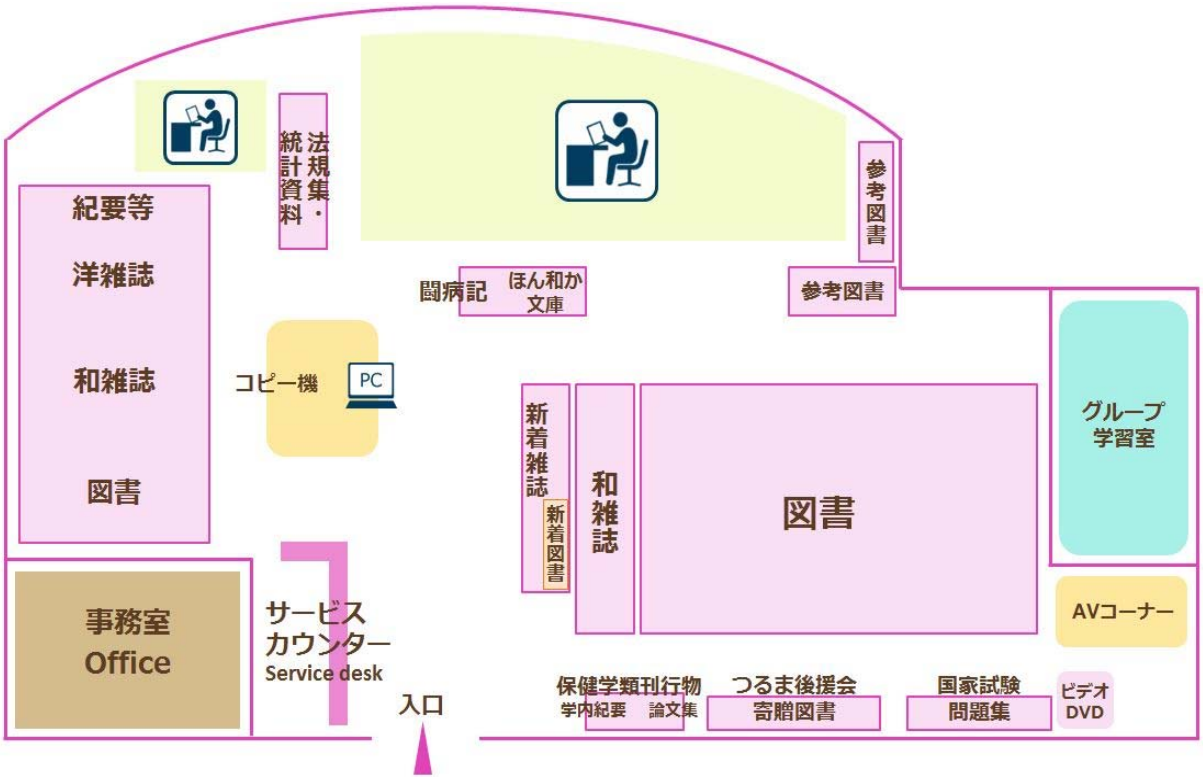
④　データベース検索からの電子ジャーナル利用について

データベースで論文を検索すると，下図のようなバナーが表示されることがあります。これらをクリックすると，電子ジャーナルリスト検索や OPAC 検索をすることなく，簡単に PDF で論文を読めることが多く便利です。(金沢大学で契約している電子ジャーナルの論文や無償公開されている論文の場合)

医中誌 Web では

PubMed では

保健学類図書室　フロアマップ



保健学類図書室は３号館１階にあります。

保健学類図書室　電話番号：０７６－２６５－２５１８

E-mail：　htosho@adm.kanazawa-u.ac.jp

【医学図書館　利用案内 】

（１）　開館時間

平　日（月～金曜）	8：30 ～ 22：00
土　曜	10：00 ～ 16：00(17:00)※

※閉館時間は月によって異なります。
医学図書館 Web サイトにある開館スケジュールで確認してください。
医学図書館 Web サイト　http://library.kanazawa-u.ac.jp/mlib/

（２）　休 館 日

① 日曜日，国民の祝日
② 12月28日～１月3日
③ 夏季一斉休業日
その他必要のある場合は，臨時に開館・閉館することがあります。

（３）　利用できる資料

主に医学系図書，参考図書（辞典など），視聴覚資料，雑誌が配架されています。図書は，請求記号順，雑誌は，ABC 順に配架されています。
・配架場所は次のとおりです。

１階（閲覧エリア）	医学系図書，参考図書（辞典など），視聴覚資料(DVD)
２階（オープンスタジオ）	新着の購読雑誌
３階（書庫）	利用頻度の低い図書（OPAC plus では別置４），古い和雑誌 ※一部未整備のため，立ち入りできない箇所あり。
４階（書庫）	雑誌（製本雑誌含む）

（４）　貸出冊数と貸出期間

区　　分	一般図書	製本雑誌	未製本雑誌	基本書･参考図書	視聴覚資料
冊　　数	５　冊	６　冊	３　冊	－	２　点
期　　間	14日※	７　日	翌日返却	館内のみ	７　日※

※更新（延長）は１回まで

貸出返却の手続きは，保健学類図書室と同様です。
閉館時返却用のブックポストは入口付近に設置してあります。

（５）　視聴覚ブース（1階）

図書館備付の視聴覚資料を視聴することができます。

（６）　複写機の利用について

１階サービスカウンター前にコピー機が2台置いてあります（モノクロ専用でコイン式とカード式、各1台）。**2階十全記念スタジオ前に**カラー対応コピー機（カード式）が1台あります。
保健学類図書室と同様に「文献複写申込書」を記入してから複写してください。

（７）閲覧エリア（１階）

閲覧席 24 席とカウンター席 18 席があります。無線 LAN も利用できます。
車椅子用のテーブルもあります。

（８）ラーニング・コモンズ（1階，2階）

１階にはブックラウンジがあり，事前に予約すれば，イベントにも使用できます。

また，ここには，新聞，テレビ，自販機が置いてあります。
２階には，次のオープンスタジオ，グループスタジオ，十全記念スタジオがあります。
【オープンスタジオ】
以下の設備があり，無線 LAN も利用できます。
・パソコン（シンクライアント）24 台
・自由に組み合わせ可能なテーブルと椅子（36 席），ホワイトボード
また，奥には，新着雑誌コーナー（閲覧席 6 席）があります。
【グループスタジオ】※要予約（(9) 施設のネット予約参照）
・4 部屋とも 8 席用で，自由に組み合わせができるテーブルがあります。
【十全記念スタジオ】
・2 人用テーブルと椅子（56 席）があります。
・講習会，講演会などのイベントで使用したいときは，事前に申し込む必要があります。詳細は医学図書館職員にお問い合わせください。

（９）施設のネット予約

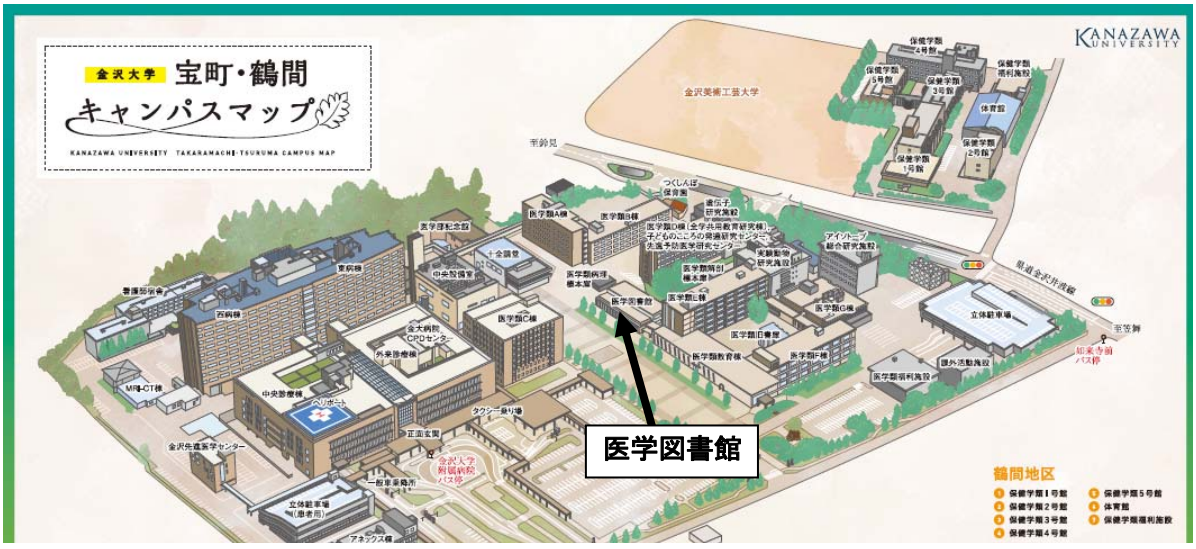
1 階に研究個室が 4 部屋，2 階にグループスタジオが 4 部屋あります。
図書館の Web サイトにある「図書館オンラインサービス」にログインし，「施設の予約」より事前に予約のうえご利用ください（要金大 ID)。

（１０）自習室（2階）

E 棟 2 階の連絡通路（またはE棟側 1 階入口から入ってすぐの階段を上る）から入ると個人用のキャレルが 48 席ある自習室があります。
※オープンスタジオのある 2 階からは，自習室に行くことはできません。

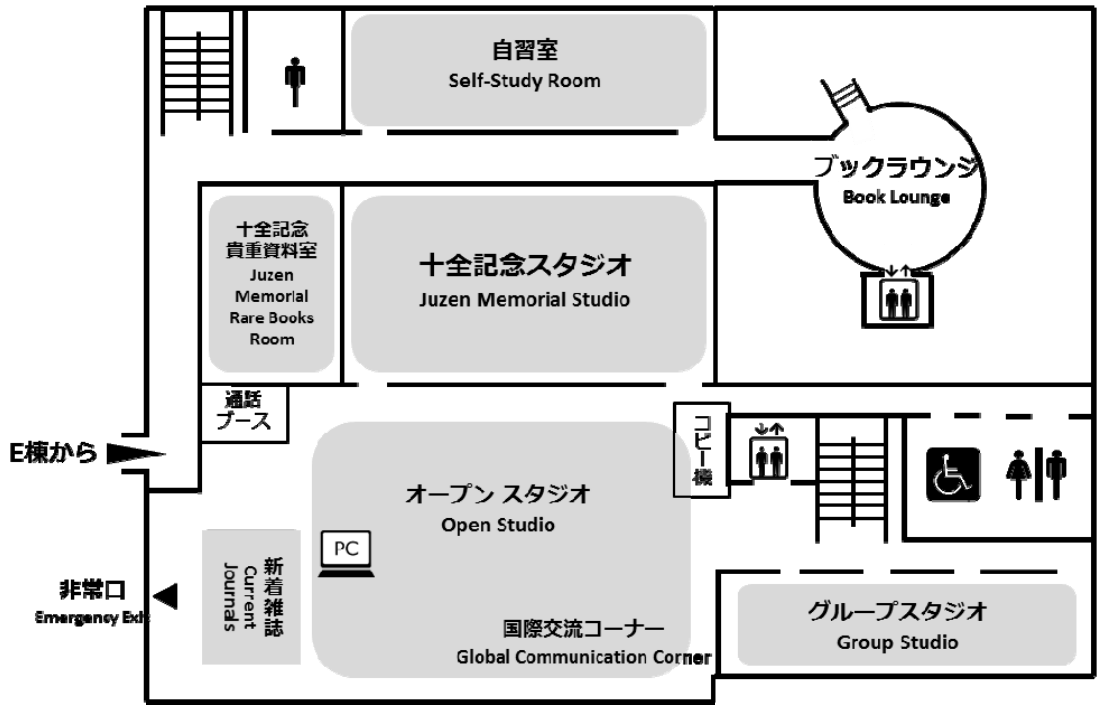
（１１）利用上の注意

①館内では喫煙，携帯電話での通話は禁止です。
※2 階オープンスタジオ奥に携帯電話専用ブースがありますので，ご利用ください。
②館内では食事はできません。
ペットボトルなどフタの閉まる容器の飲み物のみ持ち込みができます。
※ただし 1 階ブックラウンジのみ飲食可能です。
③貴重品などは，常に身につけておくようにしてください。

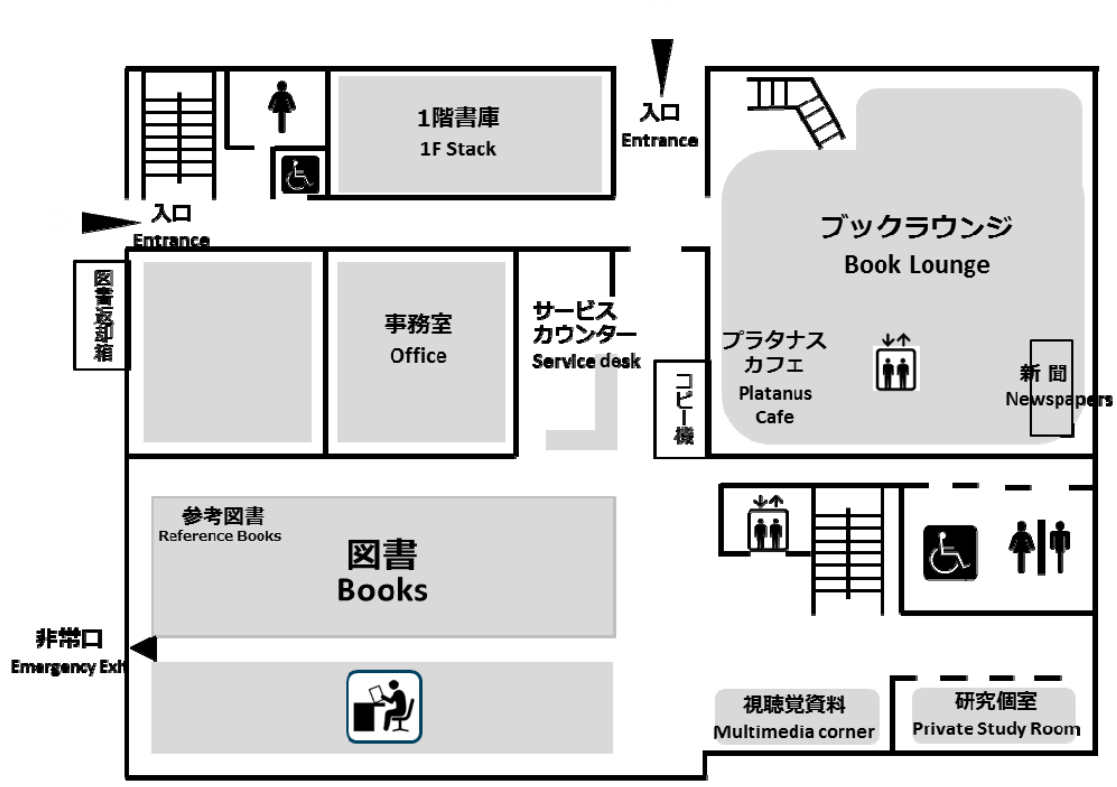


医学図書館　電話番号：０７６－２６５－２１４１

平面図【2 階】


自習室
Self-Study Room
ブックラウンジ
Book Lounge
十全記念
貴重資料室
Juzen
Memorial
Rare Books
Room
十全記念スタジオ
Juzen Memorial Studio
通話
ブース
E棟から
コピー機
オープン スタジオ
Open Studio
PC
新着雑誌
Current
Journals
非常口
Emergency Exit
国際交流コーナー
Global Communication Corner
グループスタジオ
Group Studio

平面図【1 階】


1階書庫
1F Stack
入口
Entrance
入口
Entrance
ブックラウンジ
Book Lounge
図書返却箱
事務室
Office
サービス
カウンター
Service desk
プラタナス
カフェ
Platanus
Cafe
コピー機
新 聞
Newspapers
参考図書
Reference Books
図書
Books
非常口
Emergency Exit
視聴覚資料
Multimedia corner
研究個室
Private Study Room

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）

個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コースについて

（平成 29 年度大学教育再生戦略推進費：多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン）

１．本コースの概要

（1）「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）」の概要

北信がんプロの概要については，別添の概要図をご覧ください。

（2）「個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース」の概要

本コースでは，がん治療において基礎的及び臨床的がん診療を理解し，より高度化した放射線治療において放射線技術及び医学物理学による個別化医療を目指す臨床研究を実践できる診療放射線技師・医学物理士を養成します。

２．金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程（抄）

第１０条の３　保健学専攻（博士後期課程）に超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース（以下「医療技術・医学物理人材育成コース」という。）を置く。

医療技術・医学物理人材育成コースに関する授業科目及び単位数は別表７の３のとおりとする。

別表７の３　超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コースにおける授業科目及び単位数

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考
		選択必修	選択	
基礎科目	放射線治療物理臨床技術学特講	2		
	臨地専門マネージメント演習	2		
	機能画像解析学特別研究	6		どちらか1科目履修
	量子診療技術学特別研究			
	腫瘍薬物学特論※		1	
	腫瘍放射線医学特論※		1	
	がん緩和医療学特論※		1	
	コンサルテーション論※		2	
	分子生物学入門※		1	
	医療統計学特論※		2	
専門科目	がんゲノム学特論		1	
	小児・AYA世代・希少がん特論		1	
	在宅緩和ケア特論		1	
	老年医療学特論		1	
	北信オンコロジーセミナー		1	
	がんライフステージ演習		1	

注 1 :※印科目のうち，がん専門スタッフ養成系において履修した科目については，履修することはできない。

注 2 :**医療技術・医学物理人材育成コース**の修了認定については，上記開講科目のうち，選択必修の基礎科目から 3 科目 10 単位，及びその他科目から 2 単位以上を履修することとし，合計 12 単位以上の修得が必要。

【受講方法】

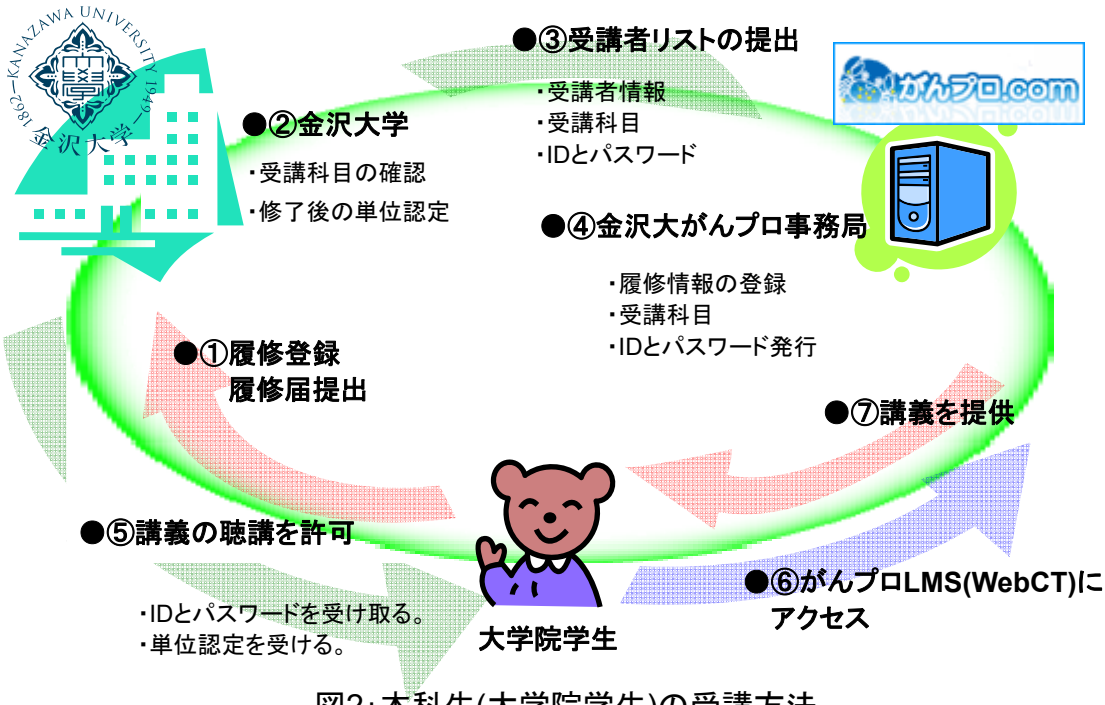


図2:本科生(大学院学生)の受講方法

① 受講科目を選択し，決められた期間に履修登録手続き（がんプロ履修届の提出）を行ってください。履修登録期間は各学期開始時に掲示等でお知らせします。

② その後，学務係から ID とパスワードがメールにて送られてきます。これらは E-learning の受講に必要です。対面授業の場合は，担当教員の指示に従ってください。

③ **E-learning 科目であっても指定された期日のスクーリングに参加しないと単位が認定されない場合がある**ので，注意してください。講義及びスクーリング受講方法，単位認定方法等，詳しくはがんプロホームページを参照してください。

〇がんプロホームページ http://gan-pro.net/member/

【資格認定方法】

① 各コースにおいて別途定められている認定要件を充足した場合，資格認定申請料（1,000 円）を「ＮＰＯ法人がんプロフェッショナル認定機構」の指定する銀行口座に振り込んだ上で，振込領収書の写し及び「ＮＰＯ法人がんプロフェッショナル認定機構資格認定申請書」を学務係まで提出してください。

② 申請にあたり添付が必要な「がんプロ科目修了証書」は学務係が認定機構へ代理申請します。

【インテンシブコースの案内】

上記の本科生コース以外に，チーム医療の養成を目的とした研修コース（インテンシブコース）が開講されています。詳細はがんプロ事務局で案内されています。

〇がんプロ事務局　℡：(076) 234-4205　URL：http://gan-pro.net/

※インテンシブコースにおける E-learning 受講の際に必要となる ID/パスワードは，上述の本科生コースで使用する ID/パスワードとは異なりますのでご注意ください。

（医薬保健学総合研究科保健学専攻　博士後期課程）

平成　　年　　月　　日提出

超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成
個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース

履　　修　　届

コ　ー　ス　名：個別化高度化を担う医療技術・医学物理人材育成コース
領　　域　　名：
教育研究分野名：
氏　　　　名：
学　籍　番　号：
E-mail（PC のもの）：

科目区分	授業科目及び単位数		履修科目に✓
基礎科目	放射線治療物理臨床技術学特講	2	
	臨地専門マネージメント演習	2	
	機能画像解析学特別研究	6	
	量子診療技術学特別研究	6	
	腫瘍薬物学特論※＃	1	
	腫瘍放射線医学特論※＃	1	
	がん緩和医療学特論※＃	1	
	コンサルテーション論※＃ **注 4**	2	
	分子生物学入門※＃	1	
	医療統計学特論※	2	
専門科目	がんゲノム学特論＃	1	
	小児・AYA世代・希少がん特論＃	1	
	在宅緩和ケア特論＃	1	
	老年医療学特論＃	1	
	北信オンコロジーセミナー＊	1	
	がんライフステージ演習＊	1	

注 1 ： ※印科目のうち，がん専門スタッフ養成系において履修した科目については，履修することはできない。

注 2 ：医療技術・医学物理人材育成コースの修了認定については，上記開講科目のうち，選択必修の基礎科目から 3 科目 10 単位，及びその他科目から 2 単位以上を履修することとし，合計 12 単位以上の修得が必要。

（医薬保健学総合研究科保健学専攻　博士後期課程）

注３ ： 各科目の詳細は，Web シラバスを参照してください。（http://gan-pro.net/member/info/syllabus/）

注４ ： コンサルテーション論の履修に関しては，必ず事前に保健学系　武村哲浩教授に相談してください。

注５ ： ＃印は e-learning とスクーリングにより単位認定されます。

注６ ： ＊印はスクーリングにより単位認定されます。

本票は，履修登録期間内に学務係へ提出してください。
受講にあたっては，必ず主任指導教員の了解を得てください。

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」

北信がんプロ：金沢大, 信州大
富山大, 福井大, 金沢医大, 石川看護大

〈これまでの取組〉

2期の北陸がんプロの成果
1) 本科生充足率138%の達成
2) 認定資格取得者139名の輩出
3) がんプロキャンサーボードTV会議
（109回、194症例、6,337名参加）による
多施設・多職種連携の基盤構築

〈背景〉〔北信地域の特徴〕

新たな医療人育成システムへの展開
本事業

●先駆的ながん・ゲノム医療関連施設
金沢大・がん進展制御研究所
（全国唯一のがん共同研究拠点）
信州大・遺伝子診療部
（全国初：H7年に開設）

●全国と比較し15年以上進んだ少子高齢化社会

生産人口(15-64歳)率	H17	H27	H37	H42
全国	65.8%	60.8%	58.7%	58.1%
北信	62.8%	57.0%	56.0%	55.6%

総務省統計局 統計データ（人口の推移と将来人口）

地域での症例や先進的がん医療の実態を把握し、戦略的がん医療人を育成するシステムを構築

〈コース概要〉

学長連絡協議会
各校の学長による事業の進捗管理

◆各大学の強みを生かした相互補完的教育コース
（本科10コース、インテンシブ9コース）

＋ 多施設・多職種連携の演習
TV会議システム、遠隔教育システム活用

小児・AYA世代　働き盛り世代　高齢世代

◆診療実績

金沢大
信州大
金沢医大
富山大
福井大
看護大

ゲノム医療・治験
小児・AYA世代がん
希少がん（肉腫等）
緩和ケア・患者支援

先進的個別化ゲノム医療
遺伝カウンセリング（予防・検診・早期発見）
小児・AYA世代がん長期フォローアップ
希少がんの病理診断・集学的治療
就労支援
高齢者がん対策
先進的在宅緩和ケア
患者のライフステージに合わせた全人的ケア

多職種連携・チーム医療
北信オンコロジーセミナー
ライフステージ事例検討会
海外研修者によるFD講習会

◆事業の連携体制

金沢大がん進展制御研究所
がん基礎知識教育

国立がん研究センター
連携協定・遺伝子解析

シンガポール国立大
復旦大学等
海外FD研修による教育
人材交流

4県の28がん拠点病院
医師会等
人材交流・データベース構築
合同市民公開講座による
啓発・予防・早期発見

患者会
患者目線の医療立案

他のがんプロチーム
H30年2月名古屋大と血液がんシンポ開催

本事業

他の人材養成プログラム
未来医療人材
（金沢大：第三の道）
課題解決型
（金沢大：認プロ、
信州大：スーパードクター）

全国規模のe-learningシステム
教材作成
支援

特徴ある症例の地域がんデータベース構築

超少子高齢化地域で活躍する先進的がん医療人

予防からケア、啓発まで
「将来の日本のがん医療人育成モデル」

◆数値目標

- 受入れ学生（本科91名、インテンシブ264名）
- 北信オンコロジーセミナー（18回、6,500名）
- ライフステージ事例検討会（30回、4,500名）
- FD研修（海外 各大学1回、FD講習会 3回）
- 国際シンポジウム（2回）
- 合同市民公開講座（5回）
- 地域医療機関との人材交流（3,000名）
- 北信地域がんデータベース（7種以上）

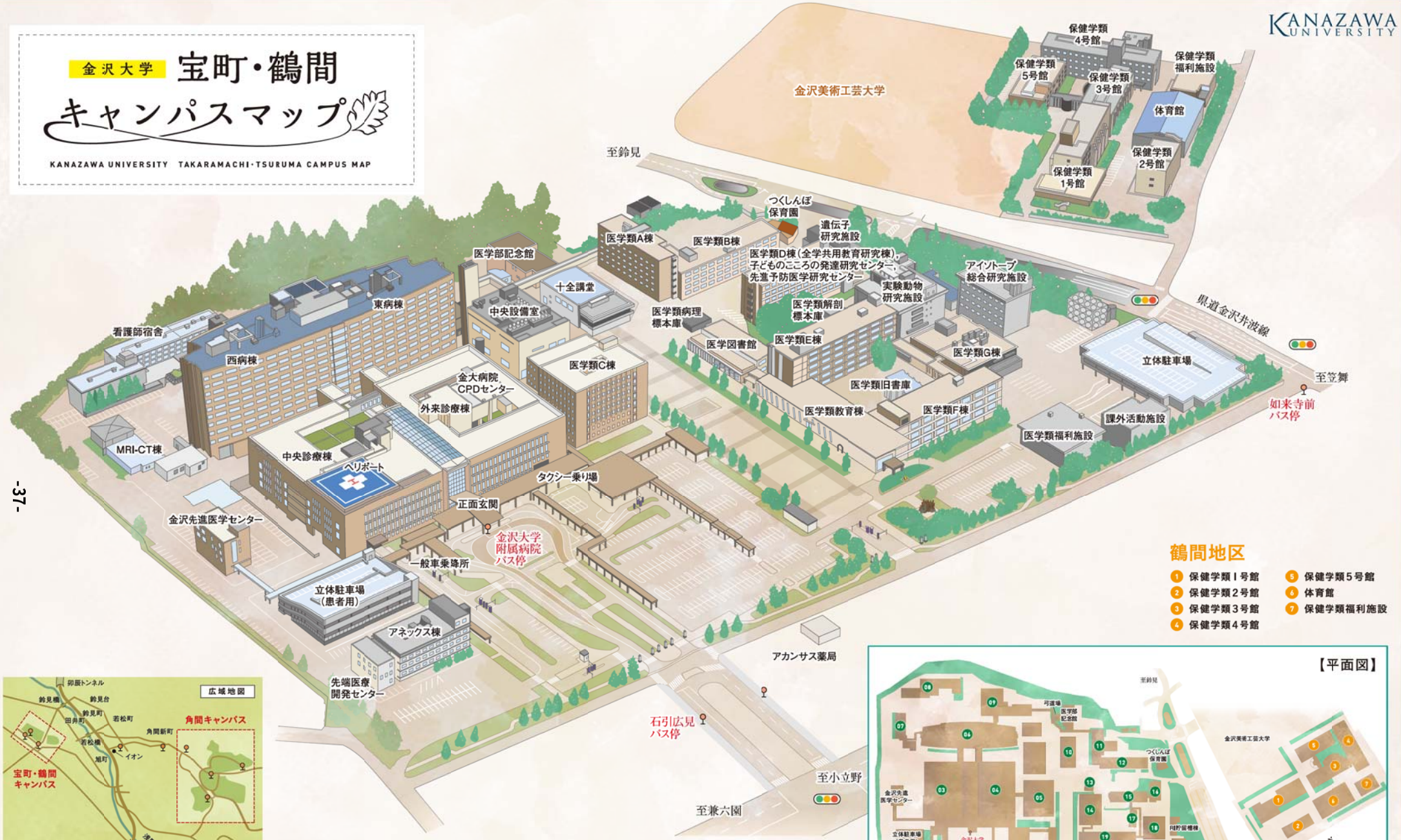
- 免疫チェックポイント阻害薬使用症例
- 小児長期フォローアップ症例
- 在宅緩和ケア実施症例
- 障がい者がん症例
- 妊孕性保存症例　等

「将来の日本を映し出すデータベース」
大学院生による学会・英語論文発表
→ モチベーションを高め事業の求心力を保つ
→ 社会に対する成果の発信・還元
⇒**がん教育・予防・検診受診・早期発見・早期治療・早期社会復帰へ**

金沢大学 宝町・鶴間 キャンパスマップ

KANAZAWA UNIVERSITY TAKARAMACHI・TSURUMA CAMPUS MAP

KANAZAWA UNIVERSITY



鶴間地区

1. 保健学類Ⅰ号館
2. 保健学類2号館
3. 保健学類3号館
4. 保健学類4号館
5. 保健学類5号館
6. 体育館
7. 保健学類福利施設

【平面図】

宝町地区

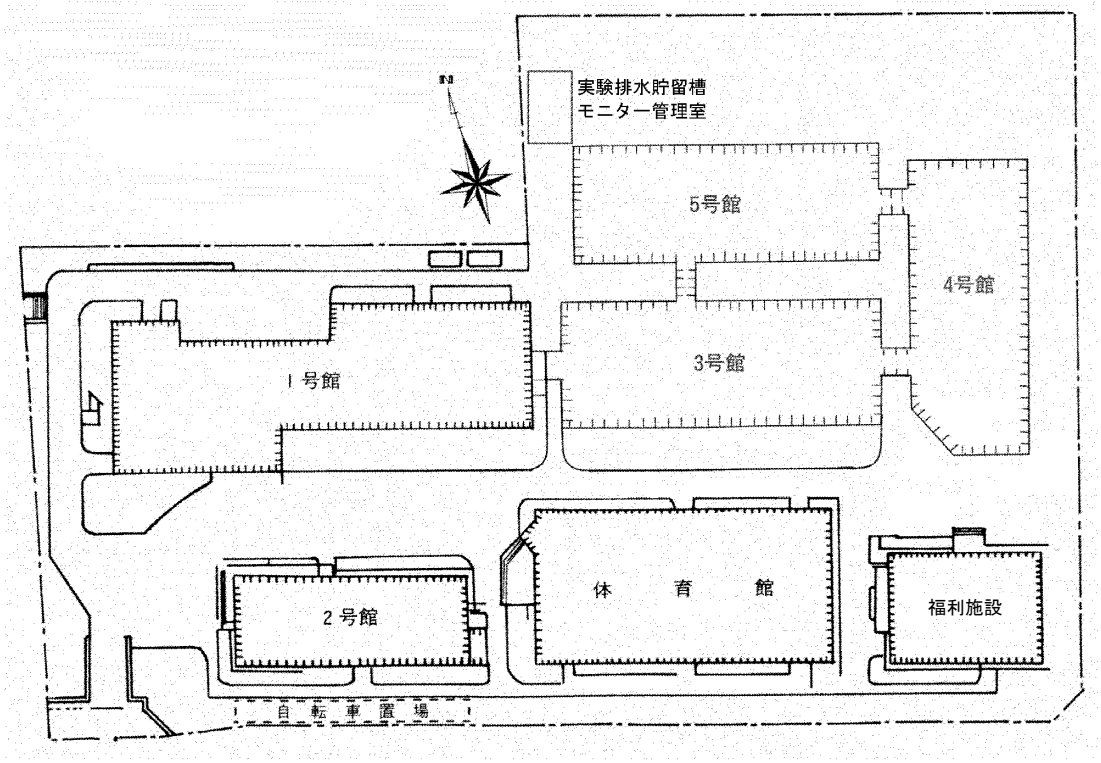
01. 先端医療開発センター
02. アネックス棟
03. 中央診療棟
04. 外来診療棟，金大病院CPDセンター
05. 医学類C棟
06. 病棟（西病棟／東病棟）
07. MRI-CT棟
08. 看護師宿舎
09. 北病棟
10. 十全講堂
11. 医学類A棟
12. 医学類B棟
13. 医学類病理標本庫
14. 医学図書館
15. 医学類D棟（全学共用教育研究棟），子どものこころの発達研究センター，先進予防医学研究センター
16. ★遺伝子研究施設
17. 医学類解剖標本庫
18. ★実験動物研究施設
19. 医学類E棟
20. 医学類教育棟
21. 医学類F棟
22. 医学類旧書庫
23. 医学類G棟
24. ★アイソトープ総合研究施設
25. 医学類福利施設
26. 課外活動施設

★学際科学実験センター

2019.3.3000

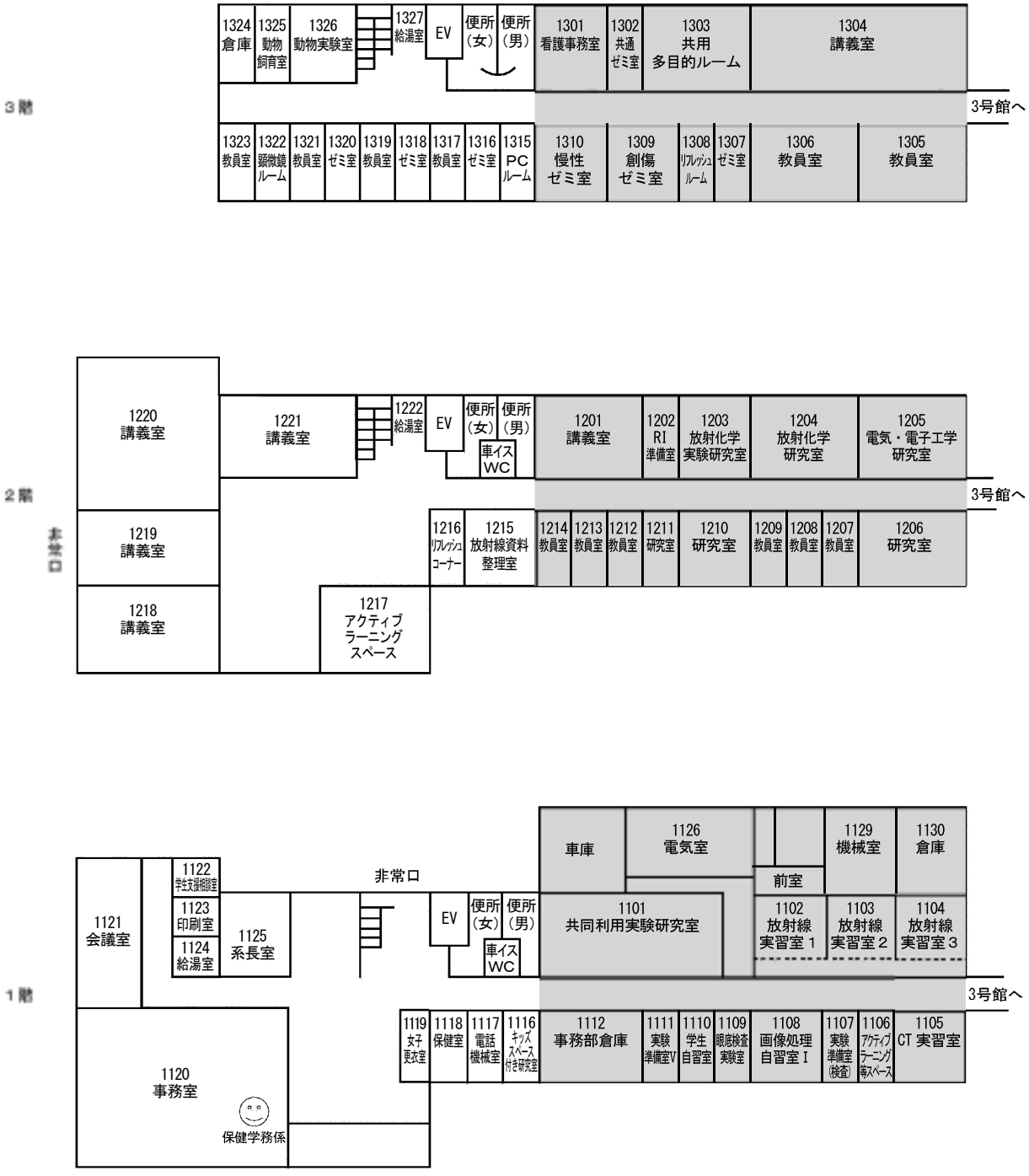
金沢大学医薬保健学域保健学類校舎

（1） 配 置 図



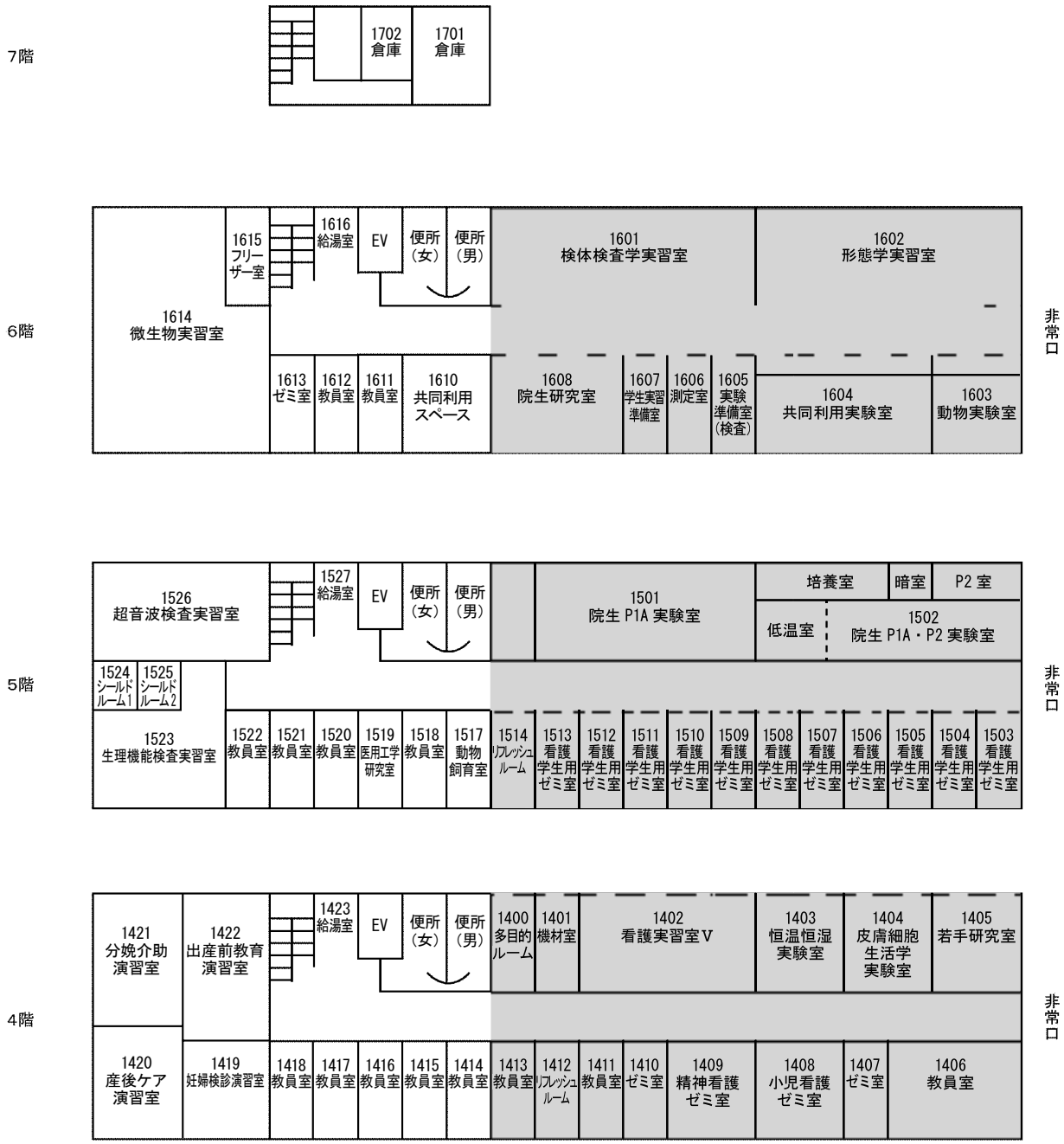
（２）　平　面　図

１号館平面図（１～３階）



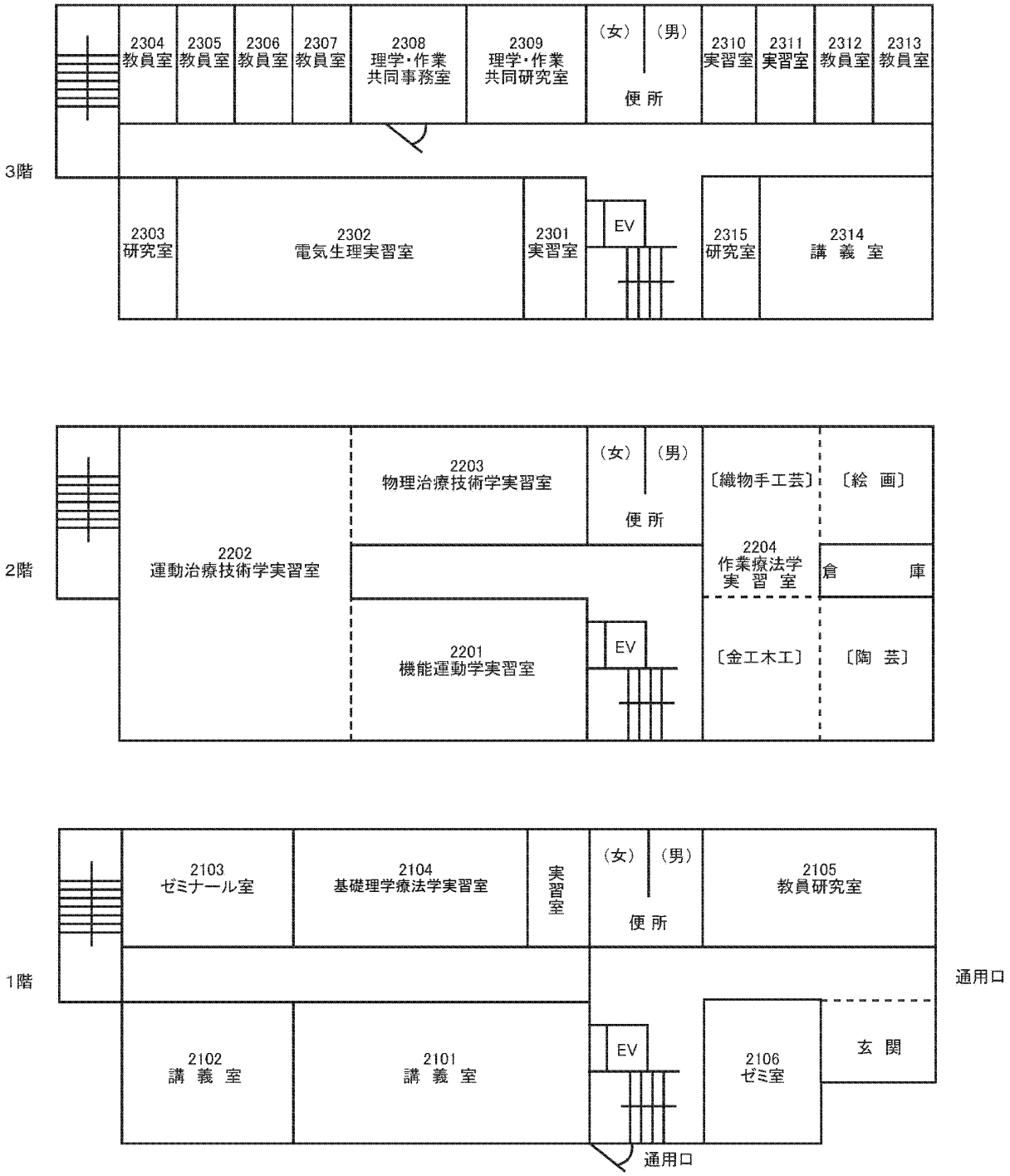
（補足）１号館の東側（グレー塗りの箇所）は，2019 年５月末まで改修工事につき，完成予想図を掲載しています。
内容は変更となる場合があります。

１号館平面図（４～７階）

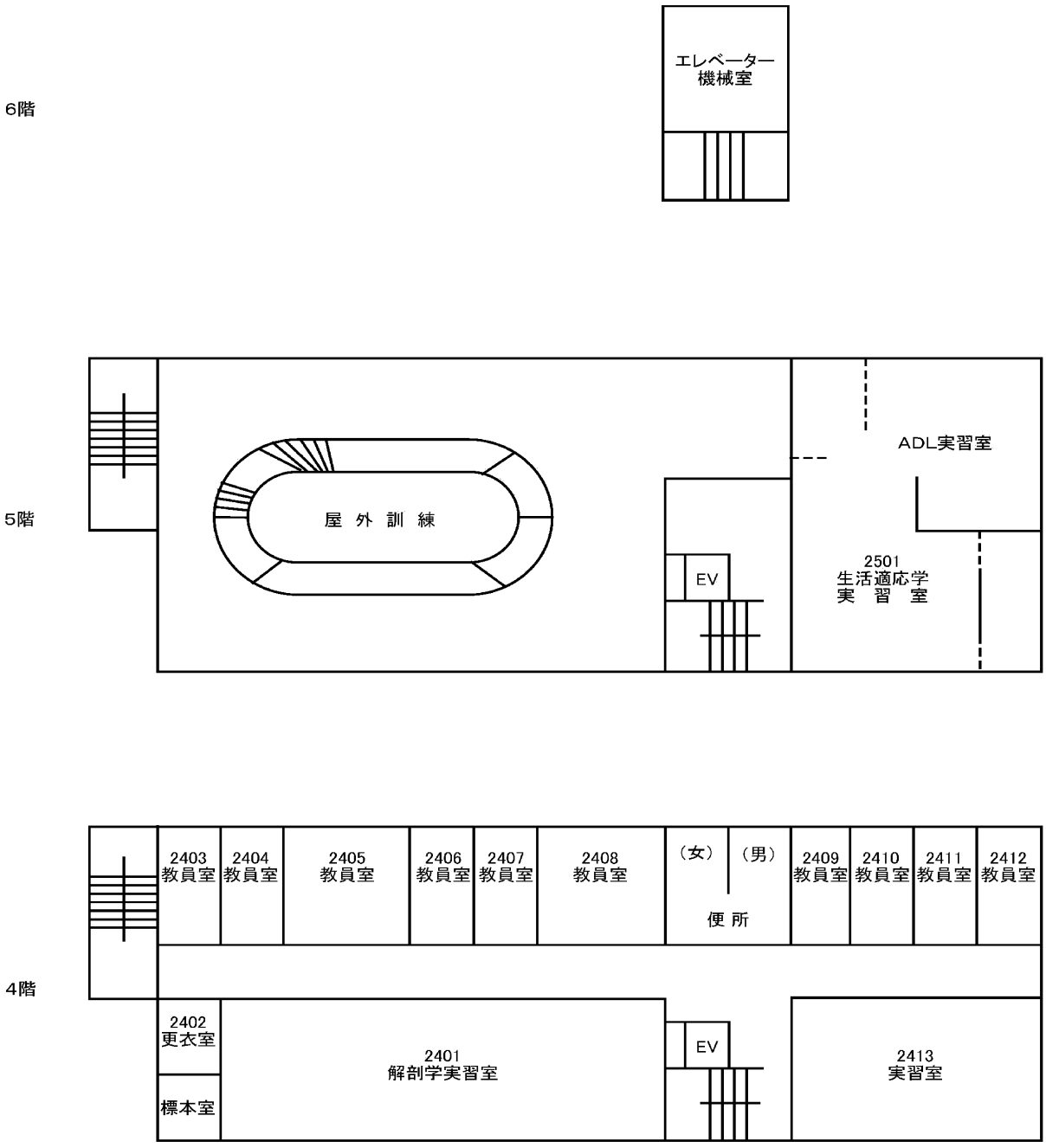


（補足）１号館の東側（グレー塗りの箇所）は，2019 年５月末まで改修工事につき，完成予想図を掲載しています。
内容は変更となる場合があります。

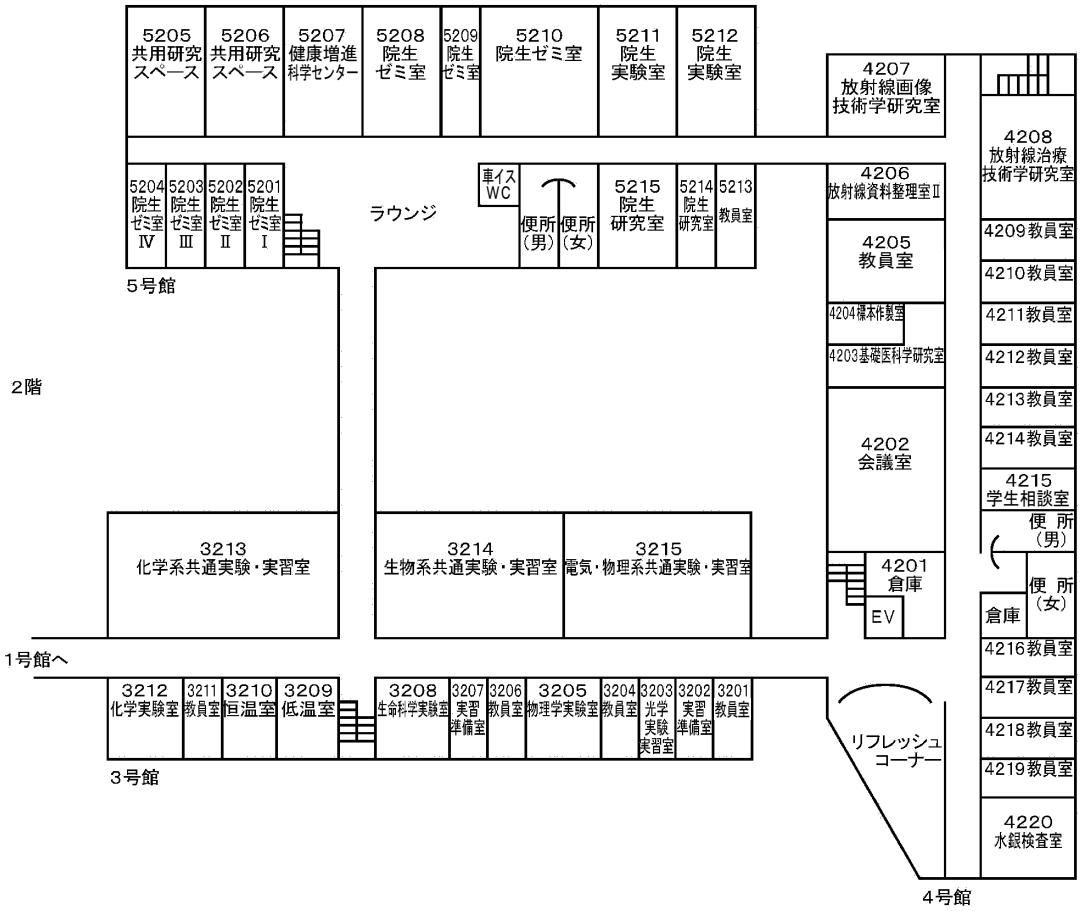
２号館平面図（１～３階）

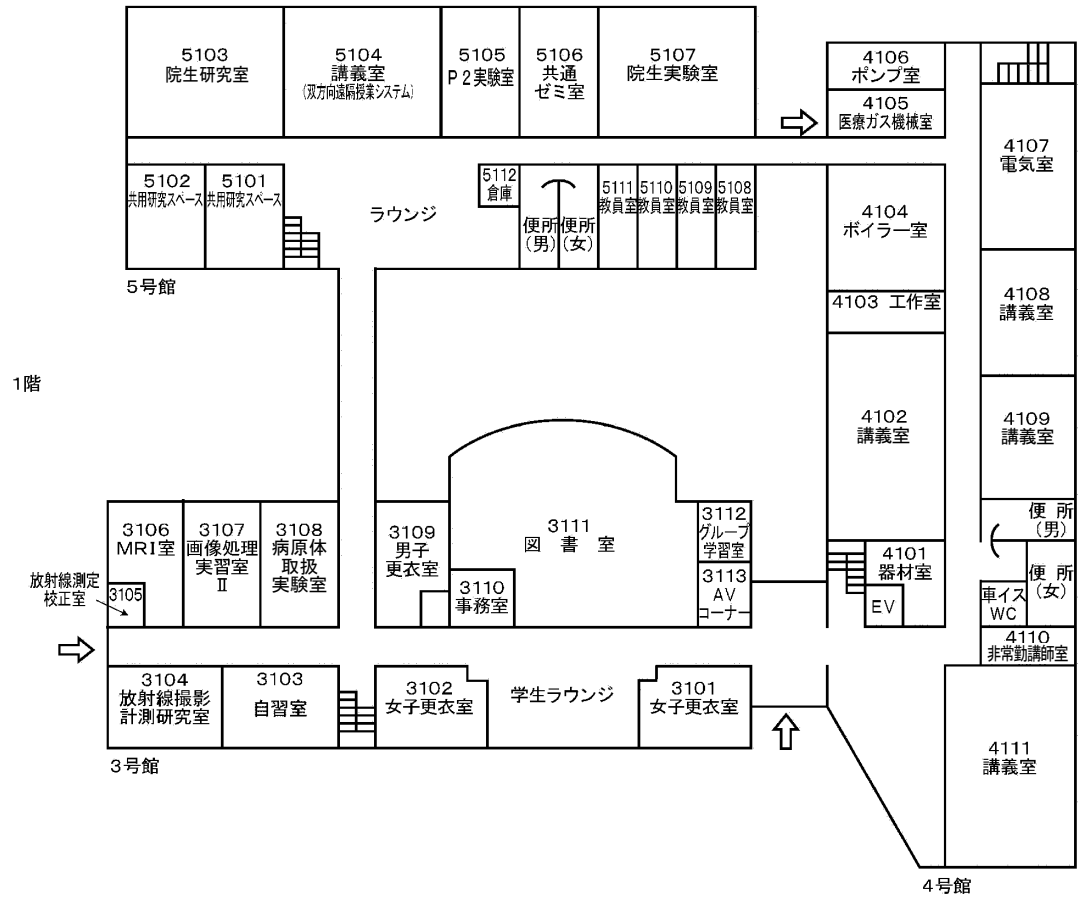

3階
2304 教員室
2305 教員室
2306 教員室
2307 教員室
2308 理学・作業 共同事務室
2309 理学・作業 共同研究室
（女）
（男）
便 所
2310 実習室
2311 実習室
2312 教員室
2313 教員室
2303 研究室
2302 電気生理実習室
2301 実習室
EV
2315 研究室
2314 講 義 室
2階
2202 運動治療技術学実習室
2203 物理治療技術学実習室
（女）
（男）
便 所
〔織物手工芸〕
〔絵 画〕
2204 作業療法学 実 習 室
倉 庫
2201 機能運動学実習室
EV
〔金工木工〕
〔陶 芸〕
1階
2103 ゼミナール室
2104 基礎理学療法学実習室
実習室
（女）
（男）
便 所
2105 教員研究室
通用口
2102 講 義 室
2101 講 義 室
EV
2106 ゼミ室
玄 関
通用口

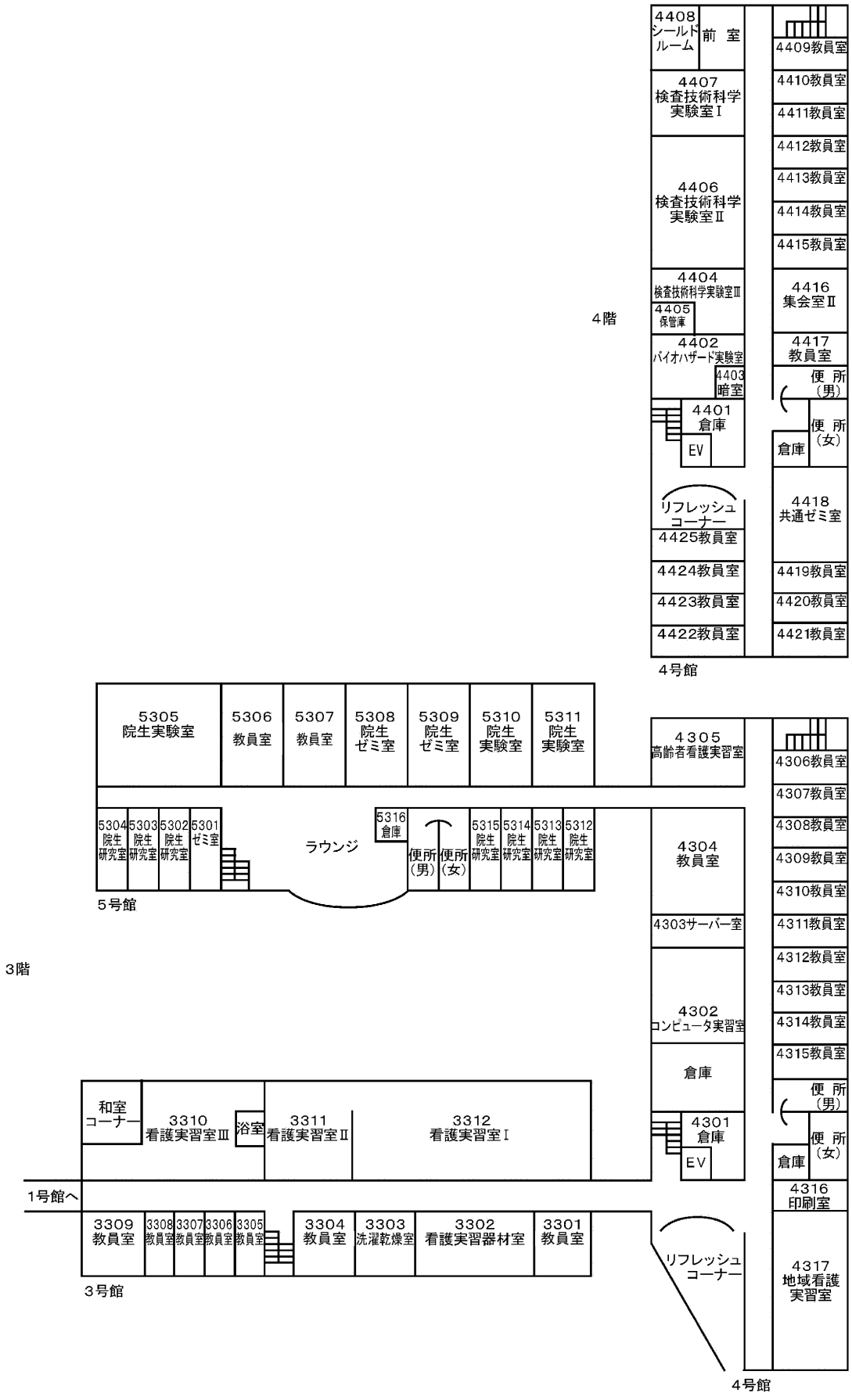
２号館平面図（４～６階）


6階
エレベーター
機械室
5階
屋 外 訓 練
EV
ADL実習室
2501
生活適応学
実 習 室
4階
2403
教員室
2404
教員室
2405
教員室
2406
教員室
2407
教員室
2408
教員室
（女）
（男）
便 所
2409
教員室
2410
教員室
2411
教員室
2412
教員室
2402
更衣室
標本室
2401
解剖学実習室
EV
2413
実習室

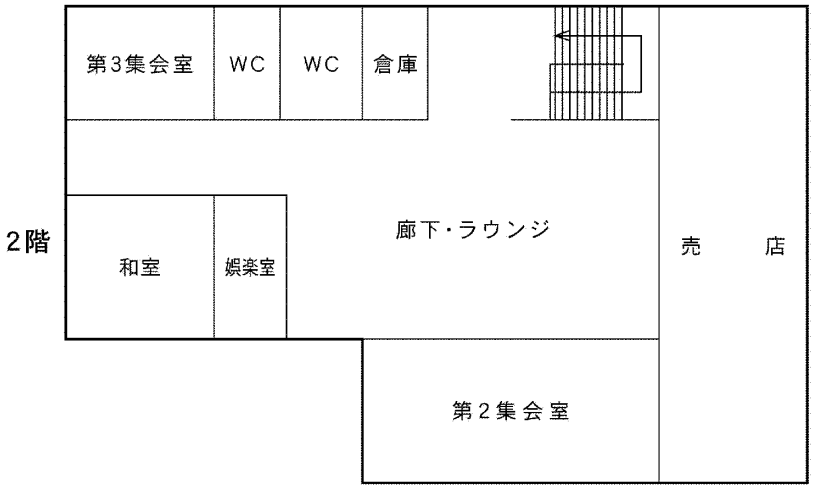
３・４・５号館平面図（１～２階）

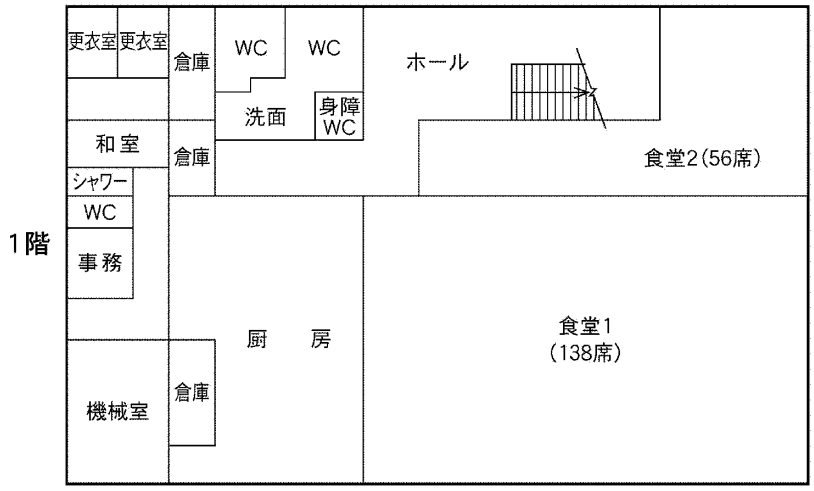




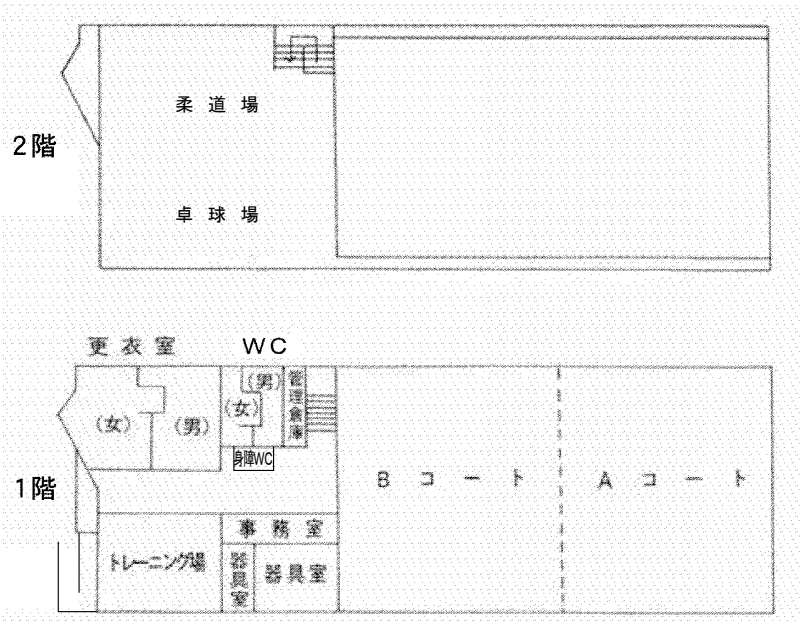

4階
4408 シールドルーム
前 室
4409教員室
4407 検査技術科学実験室Ⅰ
4410教員室
4411教員室
4406 検査技術科学実験室Ⅱ
4412教員室
4413教員室
4414教員室
4415教員室
4404 検査技術科学実験室Ⅲ
4405 保管庫
4416 集会室Ⅱ
4402 バイオハザード実験室
4417 教員室
4403 暗室
便 所（男）
4401 倉庫
EV
便 所（女）
倉庫
リフレッシュコーナー
4418 共通ゼミ室
4425教員室
4424教員室
4419教員室
4423教員室
4420教員室
4422教員室
4421教員室
4号館
5305 院生実験室
5306 教員室
5307 教員室
5308 院生ゼミ室
5309 院生ゼミ室
5310 院生実験室
5311 院生実験室
4305 高齢者看護実習室
4306教員室
5304 院生研究室
5303 院生研究室
5302 院生研究室
5301 ゼミ室
ラウンジ
5316 倉庫
便所（男）
便所（女）
5315 院生研究室
5314 院生研究室
5313 院生研究室
5312 院生研究室
4304 教員室
4307教員室
4308教員室
4309教員室
4310教員室
4303サーバー室
4311教員室
4312教員室
4313教員室
4302 コンピュータ実習室
4314教員室
4315教員室
倉庫
便 所（男）
4301 倉庫
EV
便 所（女）
倉庫
4316 印刷室
5号館
3階
和室コーナー
3310 看護実習室Ⅲ
浴室
3311 看護実習室Ⅱ
3312 看護実習室Ⅰ
1号館へ
3309 教員室
3308 教員室
3307 教員室
3306 教員室
3305 教員室
3304 教員室
3303 洗濯乾燥室
3302 看護実習器材室
3301 教員室
リフレッシュコーナー
4317 地域看護実習室
3号館
4号館

福利施設棟平面図





金沢大学小立野体育館平面図



２０１９年４月

金沢大学医薬保健系事務部

保健学支援課保健学務係

〒920-0942　石川県金沢市小立野５-１１-８０
TEL（０７６）２６５－２５１４～２５１７
FAX（０７６）２３４－４３５１
E-mail　t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp